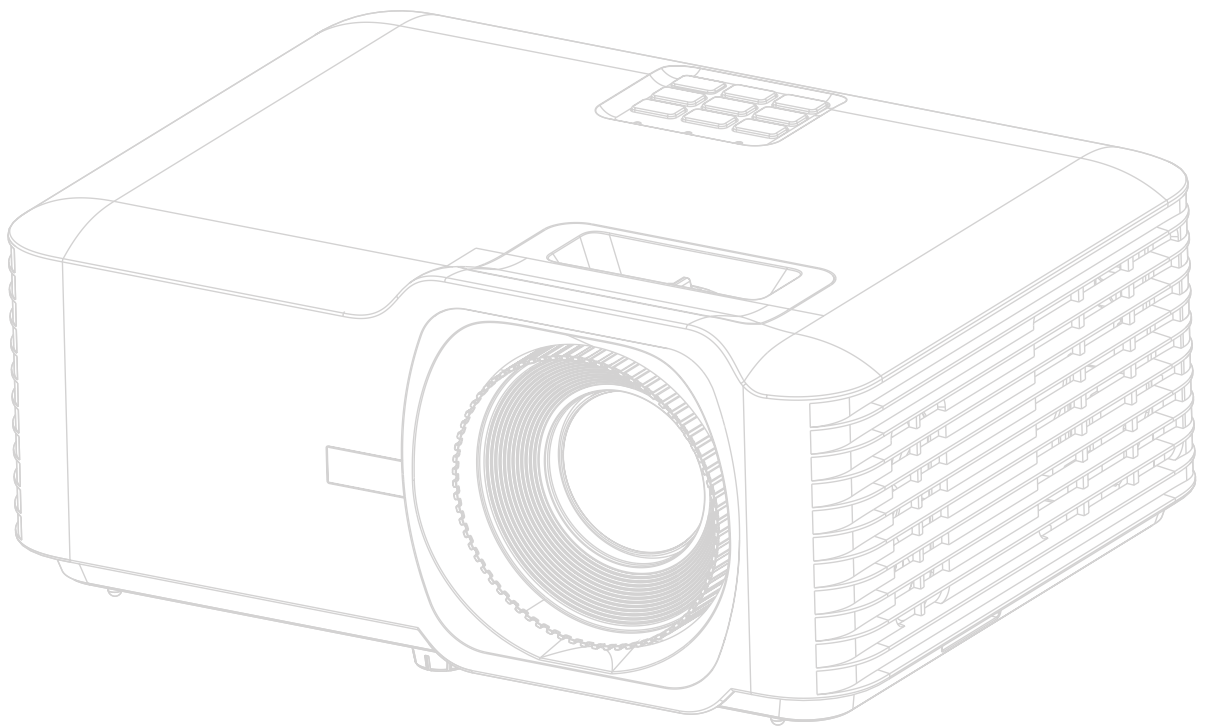


LS741HD

プロジェクター ユーザーガイド



製品番号 VS19894
型番：LS741HD

ViewSonic® 製品をお買い上げいただきありがとうございます。 うございます。

ViewSonic® は技術進化、技術革新、簡略化において世界の期待を超えるビジュアルソリューションを提供し続けております。ViewSonic® は世界にインパクトを与える必ずお客様にご満足いただける ViewSonic® 製品をお届けします。

このたびは、ViewSonic® 製品をお買い上げいただきありがとうございます。

安全のためのご注意 - 全般

本機をご使用になる前に、次の**安全のためのご注意**をお読みください。

- 本書は必要なときにいつでも参照できるように、安全な場所に保管しておいてください。
- 注意や警告はすべてお読みになり、その指示に従ってください。
- 適切な通気のために、本機の周囲は最低 20" (50 cm) のスペースを保ってください。
- 本機は通気のよい場所に設置してください。熱がこもるため、本機の上に物を載せないでください。
- 本機は平坦な安定した場所に設置してください。本機が落下すると、ケガや故障の原因となります。
- 左右の傾きが 10°、または前後の傾きが 15° を超える状態では使用しないでください。
- 動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。強い光線なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 本機のランプをオンにするときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。
- 本機が作動しているときに投写レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。
- ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクターの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、本機を常温に戻してください。
- ランプは定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。
- ランプ部や電子部品の交換は、必ず本機の電源プラグを抜いてから行ってください。
- 本装置のキャビネットは開けないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。
- 本機を動かす時には、落としたりぶつけたりしないでください。
- 本機や接続ケーブルの上に重い物を載せないでください。
- 装置を縦向きにしないでください。縦向きにするとプロジェクターが倒れ、けがをしたり故障したりする恐れがあります。
- 本機を直射日光や熱源の熱にさらさないでください。ラジエーターやヒーター、ストーブ、その他の熱源（アンプなど）の近くに本機を設置すると、本機が高温になり危険です。
- 本機の上または近くに液体を置かないでください。本機の内部に液体がこぼれると故障の原因になります。本機が濡れてしまった場合は、コンセントからプラグを抜いて、お近くのサービスセンターに補修を依頼してください。

- 本機が作動しているときには、通気孔から熱風と臭気を感じる場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥によるものではありません。
- 有極プラグやアースプラグの安全対策は外さないでください。有極プラグには2つのブレードがあり、1つはもう片方よりも幅広になっています。アースタイプのプラグには2つのブレード、接地用突起が1つあります。幅広のブレードと3つ目の突起は安全対策用です。プラグがコンセントに合わない場合は、無理にプラグをコンセントに差し込もうとしないでください。
- コンセントに差し込むときに、接地用突起を切除しないでください。接地用突起は絶対に外さないでください。
- 電源コードは特にプラグ部分を踏みつけたり、強く挟んだりしないでください。
- 国によっては、電源電圧が不安定な場合もあります。本機は電源がAC100～240Vの電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や±10Vのサージが発生すると故障する可能性があります。電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置(UPS)にプロジェクターを接続することをお勧めします。
- 煙、異常音、異臭が認められる場合は、直ちに本機の電源を切り販売店またはViewSonic®にお問合せください。本機を使い続けることは危険です。
- 付属品/アクセサリは、メーカーが指定するものだけをご使用ください。
- 長時間本機を使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 点検修理については、すべてサポートセンターにお問い合わせください。



注意：この製品からは、光放射が放出される可能性があります。他の光源同様、直接光線を見つめることはお止めください。

RG2 IEC 62471-5:2015

安全のためのご注意 - 天井取り付け

本機をご使用になる前に、次の**安全のためのご注意**をお読みください。

本機を天井に取り付ける場合は、適合する天井取り付けキットをお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

適合しない天井取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないため本機が正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

プロジェクター天井取り付けキットは、本機を購入された販売店でお買い求めいただけます。また別途セキュリティケーブルをお求めになり、プロジェクターの盗難防止用ロックスロットと天井取り付けブラケットのベースをセキュリティケーブルでしっかりと繋いでおくことをお勧めします。このようにしておくと、万一天井取り付けブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクターを補助的に支えることができます。

レーザーに関する注意事項

この製品はクラスIレーザー製品に属し、IEC 60825-1:2014, EN 60825-1:2014/A11:2021, EN 50689:2021に準拠しています。

IEC 60825-1:2014, EN 60825-1:2014+A11:2021, EN 50689:2021 CLASS 1 CONSUMER LASER
PRODUCT RISK GROUP 2, Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040.11 except for conformance as
a Risk Group 2 LIP as defined in IEC 62471-5:Ed.1.0. For more information see Laser Notice No. 57,
dated May 8, 2019.
IEC 60825-1:2014 等級1雷射产品RG2危险等级
IEC 60825-1:2014 1类激光产品RG2危险等级

上記のレーザーに関する注意事項は、この装置の底面にあります。

- 子供たちを監督し、プロジェクターから離れた場所でプロジェクターのビームを決して見つめないように通知されます。
- 投影レンズの前でリモコンを使用してプロジェクターを起動する場合は、注意が必要です。
- ビーム内で双眼鏡や望遠鏡などの光学補助具を使用しないように注意してください。

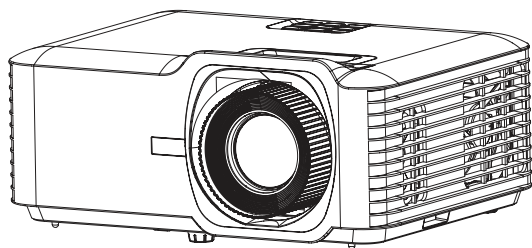
目次

安全のためのご注意 - 全般	3
はじめに	8
パッケージの内容	8
各部の名称	9
プロジェクター	9
キーパッド	10
インジケータライト	10
入出力ポート	11
リモコン	12
セットアップ	16
場所の選択 - 投影方向	16
投影寸法	17
プロジェクターの取り付け	19
セキュリティバーの使用	19
本体の接続	20
電源との接続	20
外付け機器への接続	21
HDMI接続	21
オーディオ接続	22
USBおよびネットワーク接続	23
RS-232接続	24
プロジェクターの使用方法	25
プロジェクターを起動する	25
入力ソースを選択する	26
投影画像を調整する	27
プロジェクターの高さと投影角度を調整する	27
フォーカス、キーストーン、ズームの調整	28
プロジェクターをシャットダウンする	29

プロジェクターを操作する	30
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー.....	30
メニューナビゲーション.....	31
メインメニュー構成.....	32
メニュー操作.....	38
Display Menu (ディスプレイメニュー)	38
Audio Menu (オーディオメニュー)	43
Setup Menu (セットアップメニュー)	44
Network Menu (ネットワークメニュー)	47
Information Menu (情報メニュー)	48
付録	49
仕様.....	49
プロジェクターの寸法.....	50
タイミングチャート.....	51
PC 入力	51
3Dサポートタイミング.....	52
トラブルシューティング.....	53
LEDインジケーター.....	55
メンテナンス.....	56
お手入れの際の注意.....	56
レンズを清掃する.....	56
ケースのお手入れ.....	56
プロジェクターを保管する.....	56
規制およびサービス情報	57
コンプライアンス情報.....	57
FCCコンプライアンス声明.....	57
カナダ産業省の声明.....	57
欧州諸国のCE適合.....	58
RoHS2コンプライアンス宣言.....	59
インドの有害物質規制.....	60
製品ライフサイクル終了時の製品の廃棄.....	60
著作権情報.....	61
カスタマーサポート.....	62
限定保証.....	63

はじめに

パッケージの内容



①



②



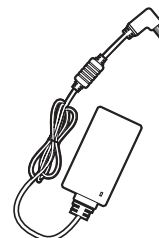
③



④



⑤

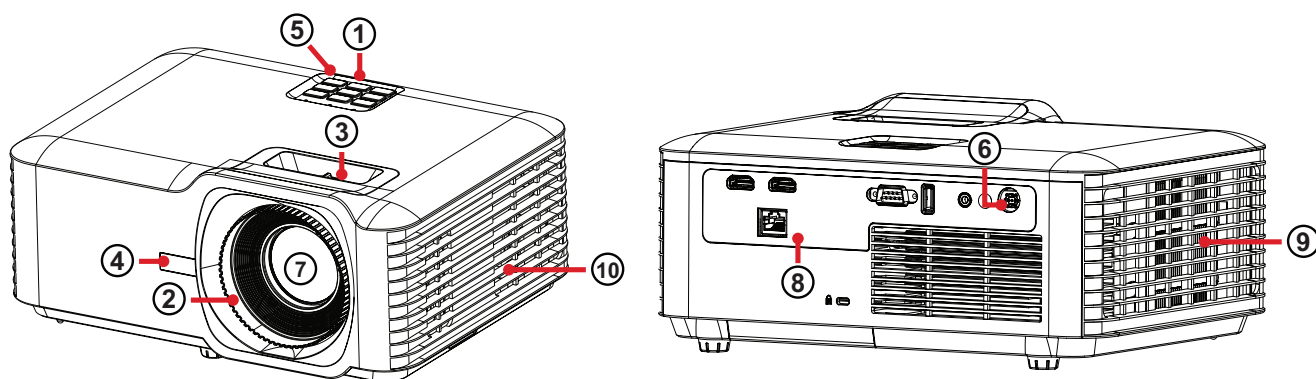


⑥

数	詳細
1	プロジェクター
2	リモコン
3	単四電池
4	クイックスタートガイド
5	電源コード
6	電源アダプタ

注記： 同梱されている電源コードとリモコンは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。詳細については、お近くの販売代理店にお問い合わせください。

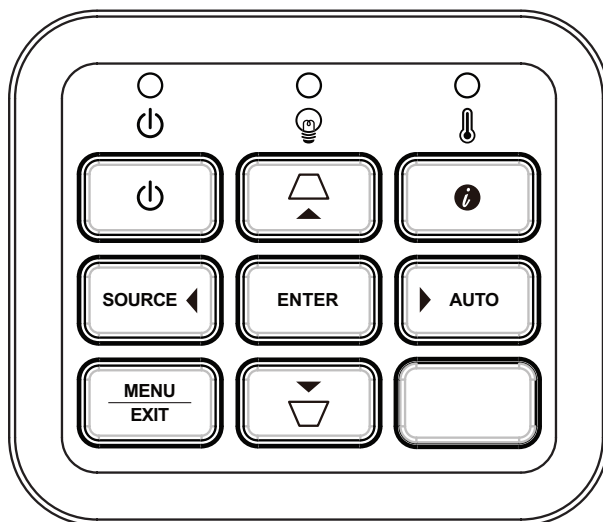
各部の名称 プロジェクター



数	詳細
1	キーパッド
2	フォーカスリング
3	ズームリング
4	フロント IR リモートセンサー
5	トップ IR リモートセンサー
6	DC 入力
7	レンズ
8	入出力ポート
9	通気口 (吸気)
10	通気口 (排気)

注記： プロジェクターの通気口 (吸気) および通気口 (排気) を塞がないでください。

キーパッド

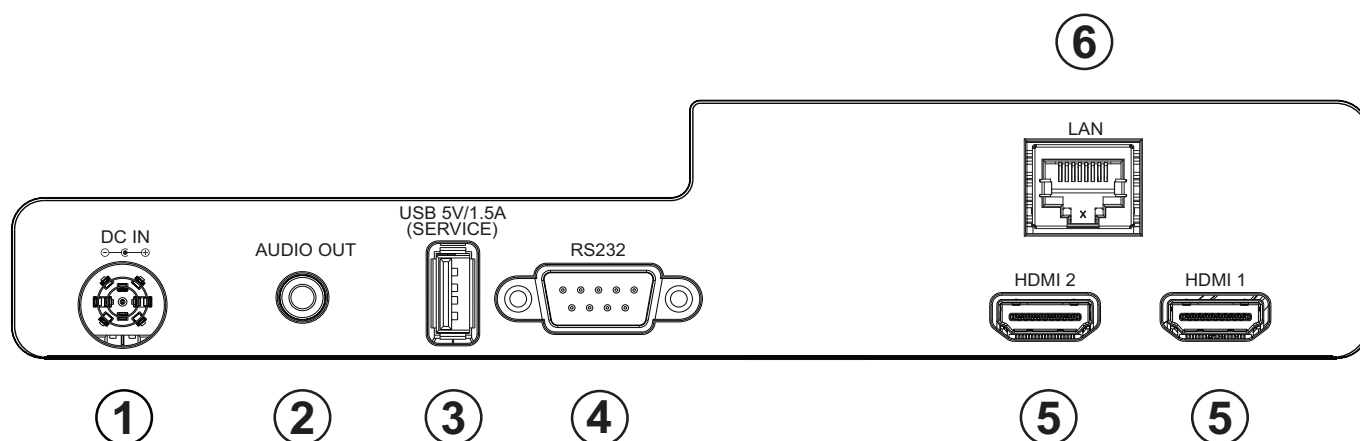


ボタン		詳細
⏻	電源	プロジェクターをスタンバイモードと電源オンに間で切り替えます。
⏏	キーストーン	角度のある投影から生じる歪んだ画像を手動で修正します。
⏪ ⏩	ナビゲーション	目的のメニュー項目を選択し、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューがアクティブになったときに調整を行います。
MENU EXIT	Menu/Exit (メニュー / 終了)	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開く / 終了します。
SOURCE	Source (ソース)	入力ソース選択バーを表示します。
i	情報	情報メニューを表示します。
ENTER	Enter (入力)	OSD メニューがアクティブになったときに、選択したオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目を有効にします。
AUTO	Auto (自動)	表示される画像の最適な画像タイミングを自動的に決定します。

インジケータライト

インジケータライト	詳細
⏻	電源インジケータライト
⏏	光源インジケータライト
🌡	温度インジケータライト

入出力ポート

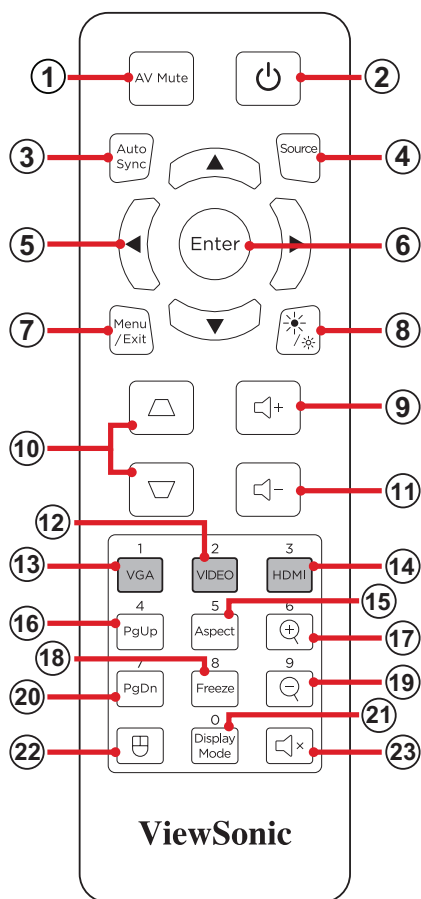


ポート		詳細
1	DC 入力	DC 入力ソケット。
2	音声出力	音声信号出力ソケット。
3	USB (5V/1.5A 出力) (サービス)	電源とサービスのための USB タイプ A ポート。
4	RS-232	RS-232 制御ポート。
5	HDMI 1 ¹ /HDMI 2 ²	HDMI ポート。
6	PJ-45	LAN ポート。

















¹ HDCP 2.2 をサポートします。

² HDCP 1.4 をサポートします。

リモコン



ボタン		詳細	
1	AV Mute (AV ミュート)		画像を非表示にし、音声を消音します。
2	電源		プロジェクターの電源をオンにするか、スタンバイモードにします。
3	Auto Sync (自動同期)		表示される画像の最適な画像タイミングを自動的に決定します。
4	Source (ソース)		入力ソース選択バーを表示します。
5	ナビゲーションボタン		目的のメニュー項目に移動して選択し、調整します。
6	Enter (入力)		選択を確定します。
7	Menu/Exit (メニュー / 終了)		<ul style="list-style-type: none"> • オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューをオンまたはオフにします。 • 前の OSD メニューに戻ります。 • メニュー設定を終了して保存します。
8	Brightness (輝度)		入力ソース選択バーを表示します。

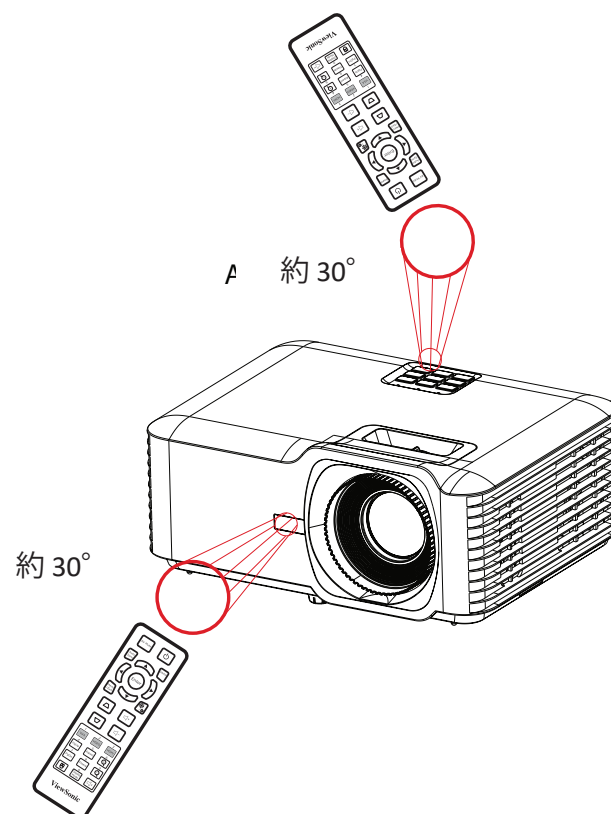
ボタン		詳細	
9	音量(上)		音量レベルを上げます
10	Keystone (キーストーン)	 	歪んだ画像を手動で修正します。
11	音量(下)		音量レベルを下げます
12	Video (ビデオ)		サポートされていないボタン
13	VGA		サポートされていないボタン
14	HDMI		HDMI 1 または HDMI 2 入力ソースを選択します。
15	アスペクト		アスペクト比選択バーを表示します。
16	ページ(上)		サポートされていないボタン
17	ズームイン		投影される画像サイズを大きくします。
18	フリーズ		投影される画像をフリーズします。
19	ズームアウト		投影される画像サイズを小さくします。
20	ページ(下)		サポートされていないボタン
21	Display Mode (ディスプレイモード)		カラーモード選択バーを表示します。
22	マウスモード		サポートされていないボタン
23	Mute (ミュート)		ミュート / ミュート解除します。

リモコン - 受信機の範囲

リモコンが正しく機能するようにするために、次の手順に従ってください。

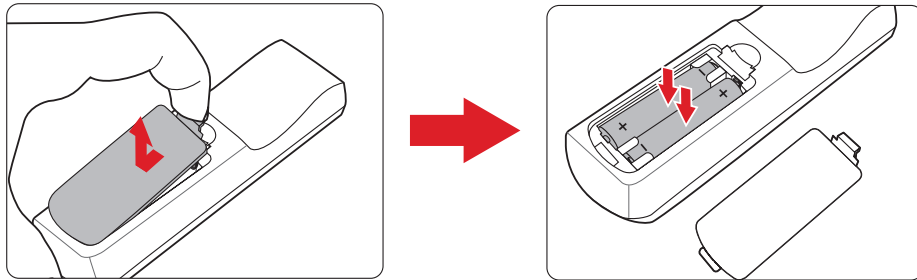
1. リモコンを、プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30° 以内で保持してください。
2. リモコンとセンサーの間の距離が、8 m (26 フィート) を超えないようにしてください。

注記： 赤外線 (IR) リモコンセンサーの位置については、図を参照してください。



リモコン - 電池の交換

1. フィンガーグリップを押しながらスライドさせて、リモコンの底面から電池カバーを取り外します。
2. 必要に応じて既存の電池を取り外し、2本の単四電池を取り付けます。
注記：表示されているように電池の極性を確認してください。
3. 電池カバーをベースに合わせて押し込み、元の位置に戻します。



注記：

- リモコンと電池を暑い場所や湿気が多い場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じまたは同等のタイプのもののみと交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長期間使用しない場合は、リモコンの損傷を防ぐために電池を取り外してください。
- 使用済みの電池は、メーカーの指示および地域の環境規制に従って処分してください。

セットアップ

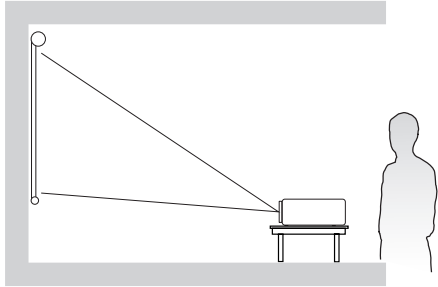
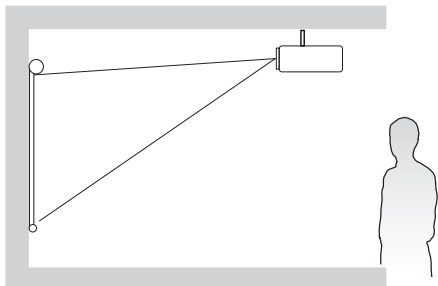
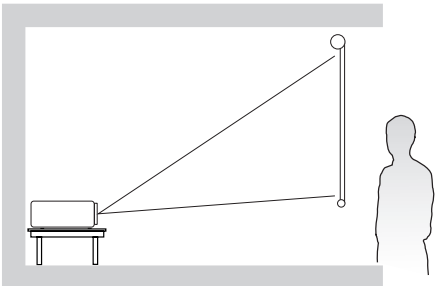
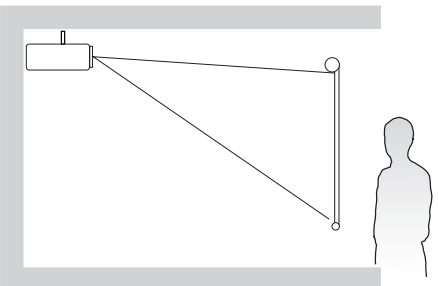
本章では、プロジェクターのセットアップについてご説明します。

場所の選択 - 投影方向

設置場所は、個人の好みや部屋のレイアウトによって決まります。次の点を考慮してください。

- スクリーンのサイズと位置。
- 適切なコンセントの場所。
- プロジェクターと他の装置との間の場所と距離。

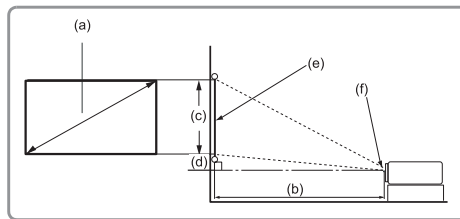
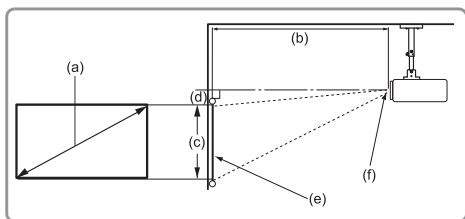
プロジェクターは、次のいずれかの場所に設置するように設計されています。

場所	
<p>デスク正面</p> <p>プロジェクターはスクリーンの正面の床の近くに配置されます。</p>	
<p>天井正面</p> <p>プロジェクターは、スクリーンの正面の天井から上下逆に吊り下げられます。</p>	
<p>デスク背面¹</p> <p>プロジェクターは、スクリーンの後ろの床の近くに配置されます。</p>	
<p>天井背面¹</p> <p>プロジェクターは、スクリーンの後ろの天井から上下逆に吊り下げられます。</p>	

¹背面投影スクリーンが必要です。

投影寸法

- 16:9 スクリーン上の 16:9 画像



注記：

- (e) = スクリーン (f) = レンズ中心

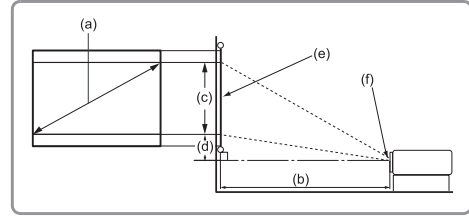
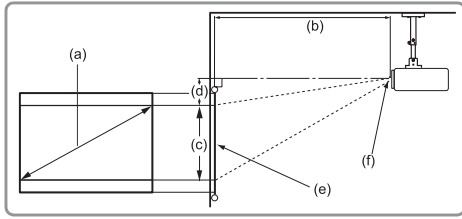
16:9 スクリーン上の 16:9 画像

(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフ セット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
30	763	36.67	931	58.67	1490	14.73	374	2.35	60
40	1016	48.81	1240	78.09	1984	19.61	498	3.14	80
50	1270	61.01	1550	97.62	2479	24.51	623	3.92	100
60	1524	73.21	1860	117.14	2975	29.42	747	4.71	120
70	1778	85.41	2170	136.66	3471	34.32	872	5.49	139
80	2032	97.62	2479	156.19	3967	39.22	996	6.28	159
90	2286	109.82	2789	175.71	4463	44.12	1121	7.06	179
100	2540	122.02	3099	195.23	4959	49.03	1245	7.84	199
110	2794	134.22	3409	214.76	5455	53.93	1370	8.63	219
120	3048	146.42	3719	234.28	5951	58.83	1494	9.41	239
130	3302	158.63	4029	253.80	6447	63.73	1619	10.20	259
140	3556	170.83	4339	273.33	6942	68.64	1743	10.98	279
150	3810	183.03	4649	292.85	7438	73.54	1868	11.77	299
200	5080	244.04	6199	390.47	9918	98.05	2491	15.69	398
250	6350	305.05	7748	488.08	12397	122.57	3113	19.61	498
300	7622	366.15	9300	585.84	14880	147.11	3737	23.53	598

注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを常設する場合は、常設する前に実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと投影距離を物理的にテストすることをお勧めします。

• 4:3 スクリーン上の 16:9 画像



注記：

- (e) = スクリーン (f) = レンズ中心

4:3 スクリーン上の 16:9 画像

(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離				(c) 画像の高さ		(d) 垂直オフ セット	
		最小		最大					
インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm	インチ	mm
30	763	34.16	868	54.66	1388	13.52	343	2.16	55
40	1016	44.80	1138	71.68	1821	18.00	457	2.88	73
50	1270	56.00	1422	89.60	2276	22.50	572	3.60	91
60	1524	67.20	1707	107.52	2731	27.00	686	4.32	110
70	1778	78.40	1991	125.44	3186	31.50	800	5.04	128
80	2032	89.60	2276	143.36	3641	36.00	914	5.76	146
90	2286	100.80	2560	161.28	4097	40.50	1029	6.48	165
100	2540	112.00	2845	179.20	4552	45.00	1143	7.20	183
110	2794	123.20	3129	197.12	5007	49.50	1257	7.92	201
120	3048	134.40	3414	215.04	5462	54.00	1372	8.64	219
130	3302	145.60	3698	232.96	5917	58.50	1486	9.36	238
140	3556	156.80	3983	250.88	6372	63.00	1600	10.08	256
150	3810	168.00	4267	268.80	6828	67.50	1715	10.80	274
200	5080	224.00	5690	358.40	9103	90.00	2286	14.40	366
250	6350	280.00	7112	448.00	11379	112.50	2858	18.00	457
300	7622	336.08	8536	537.60	13655	135.03	3430	21.60	549

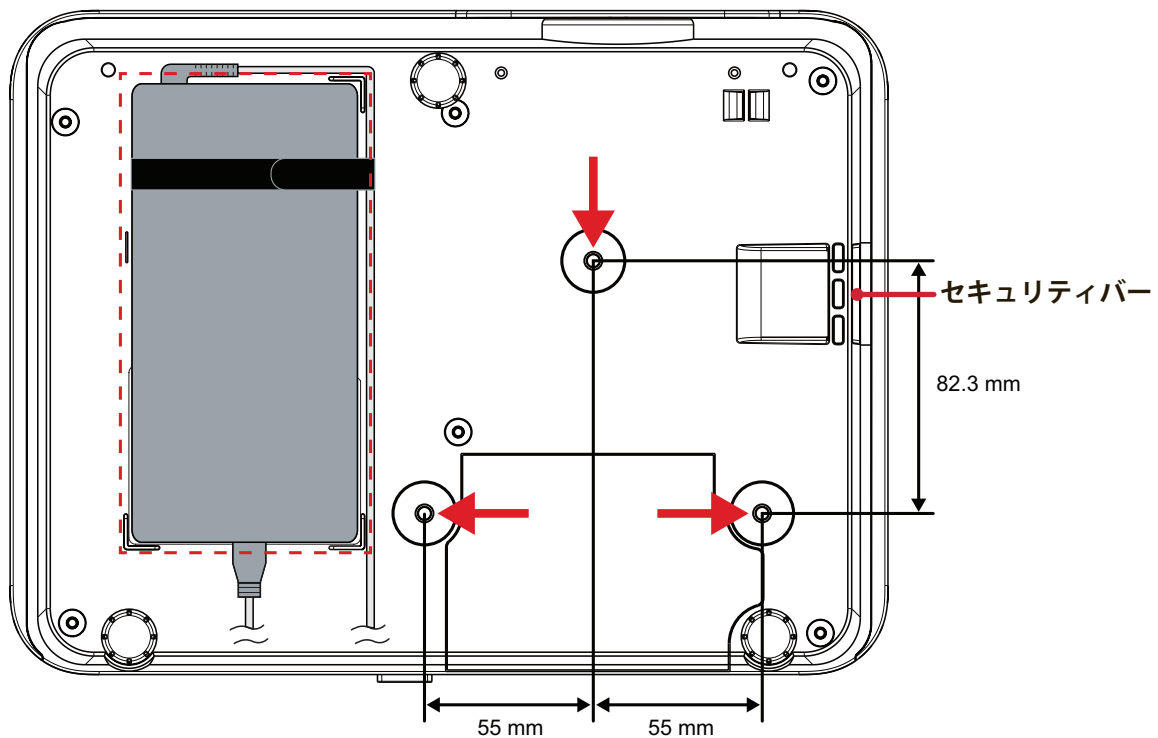
注記：

- これらの図は参照のみを目的としています。正確な寸法については、実際のプロジェクターを参照してください。
- プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

プロジェクターの取り付け

注記： サードパーティ製のマウントを購入する場合は、正しいネジサイズを使用してください。取り付けプレートの厚さによってネジサイズは異なります。

1. 最も安全な設置を確実にするために、ViewSonic® の壁または天井マウントを使用してください。
2. マウントをプロジェクターに取り付けるために使用するネジが、次の仕様を満たしていることを確認してください。
 - ネジタイプ：M4 x 8
 - 最大ネジ長さ：8 mm
3. 電源アダプターを指定された場所に置き、ケーブルストラップで固定します。



注意：

- プロジェクターを熱源または空調設備の近くに設置しないでください。
- 天井とプロジェクターの底面の間になくとも 10 cm (3.9 インチ) の隙間を空けてください。

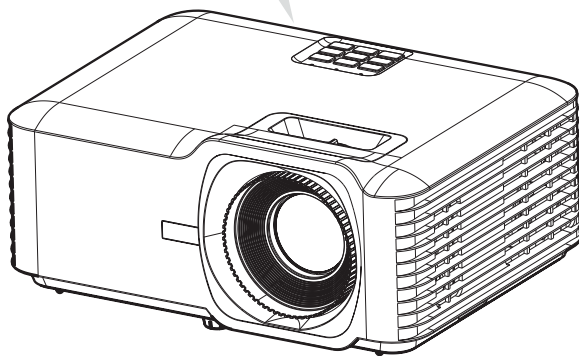
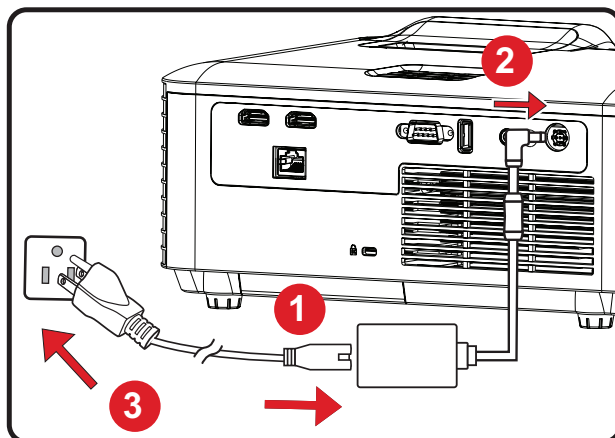
セキュリティバーの使用

プロジェクターの盗難を避けるために、セキュリティスロットロックデバイスを使用して、プロジェクターを固定物に固定します。本機を天井に取り付けてある場合、セキュリティスロットは安全のための固定機能として使用することができます。

本体の接続

電源との接続

1. 電源コードを電源アダプタに接続します。
2. 電源コードを本体後側の DC 入力ジャックに接続します。
3. 電源コードをコンセントに差し込みます。



注記： プロジェクターを設置するときは、固定配線にすぐに手が届く切断機器を組み込むか、電源プラグを装置の近くにあるアクセスしやすいコンセントに接続してください。プロジェクターの操作中に障害が発生した場合は、切断機器を使用して電源を切るか、電源プラグを抜いてください。

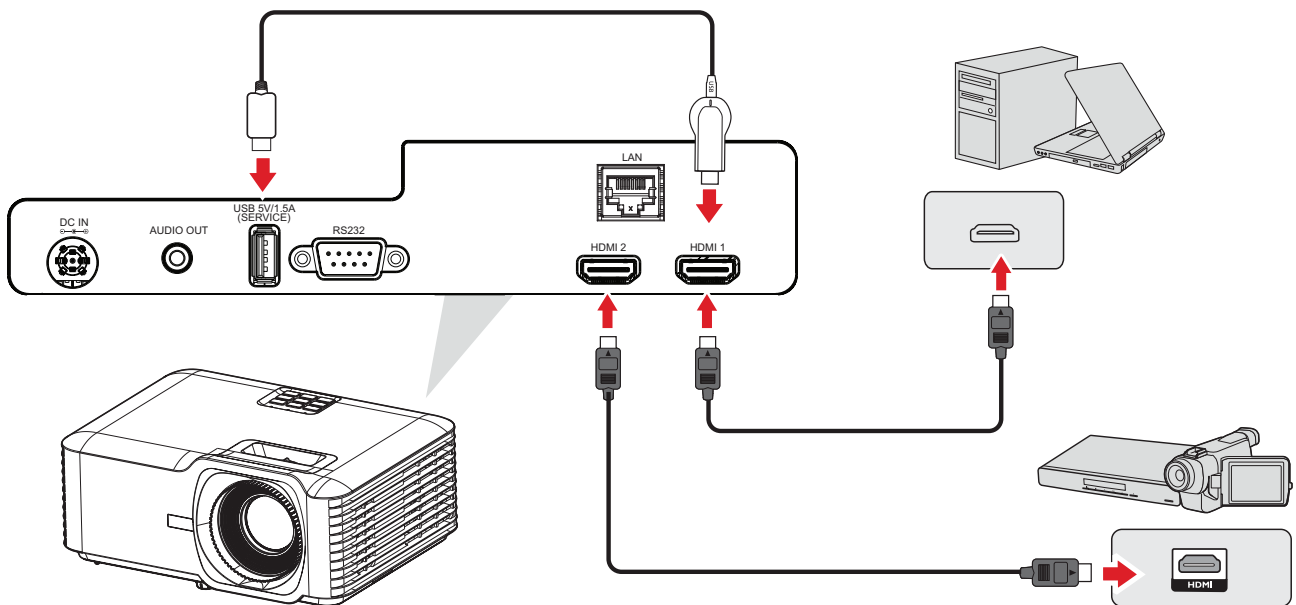
外付け機器への接続

HDMI 接続

HDMI ケーブルの片方をビデオ機器の HDMI ポートに接続し、ケーブルの他端をプロジェクターの **HDMI1/2** ポートに接続します。

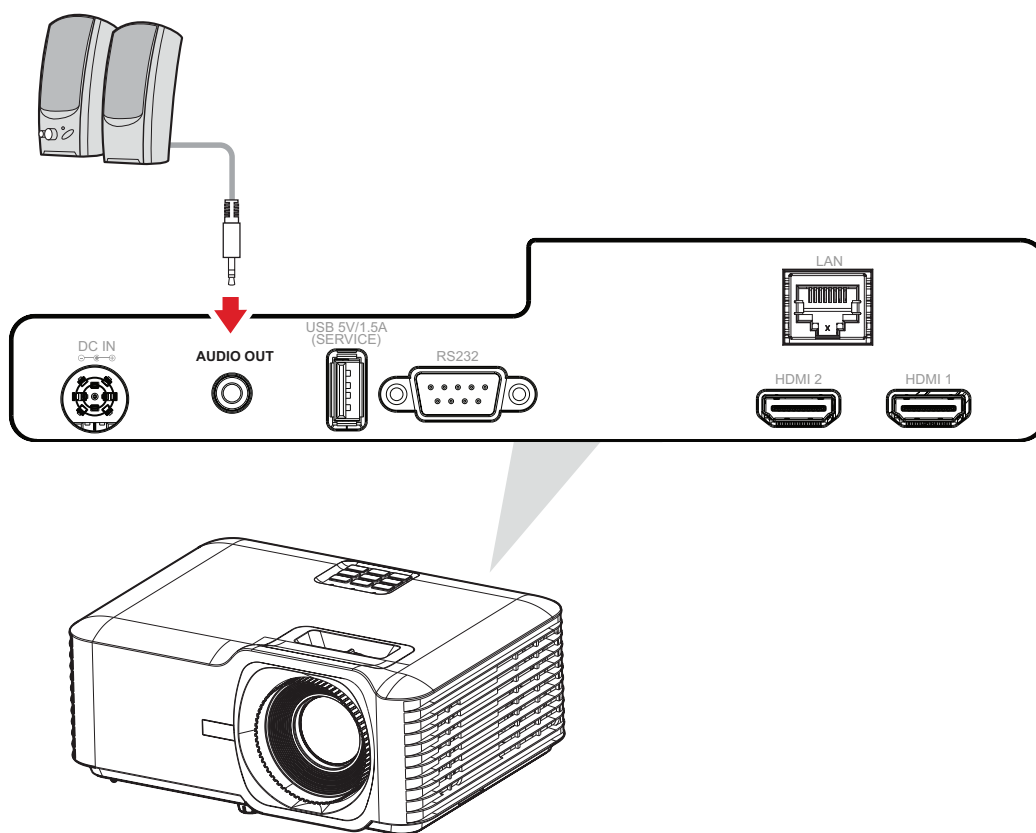
注記：

- **HDMI 1**ポートはHDCP 2.2に対応しています。
- **HDMI 2**ポートはHDCP 1.4に対応しています。



オーディオ接続

プロジェクターから外部スピーカーを介して音声を再生するには、音声ケーブルの一方の端を外部スピーカーに接続し、もう一方の端をプロジェクターの**音声出力ポート**に接続します。



USBおよびネットワーク接続

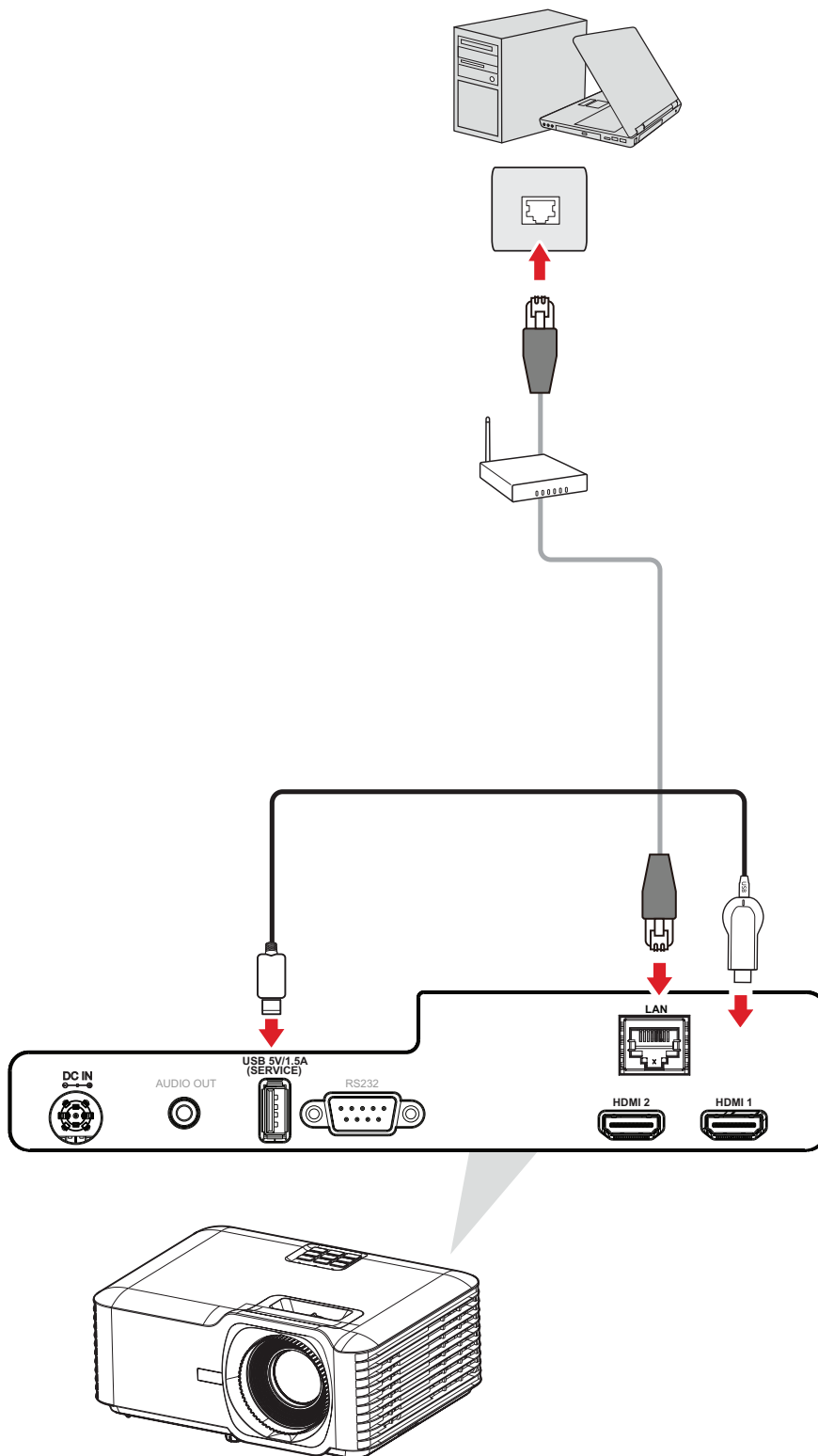
USB タイプ A 接続

USB ポートは、電源(dongle など) およびサービス用です。

注記： プロジェクターがスタンバイモードの場合、USB ポートは電力を供給しません。

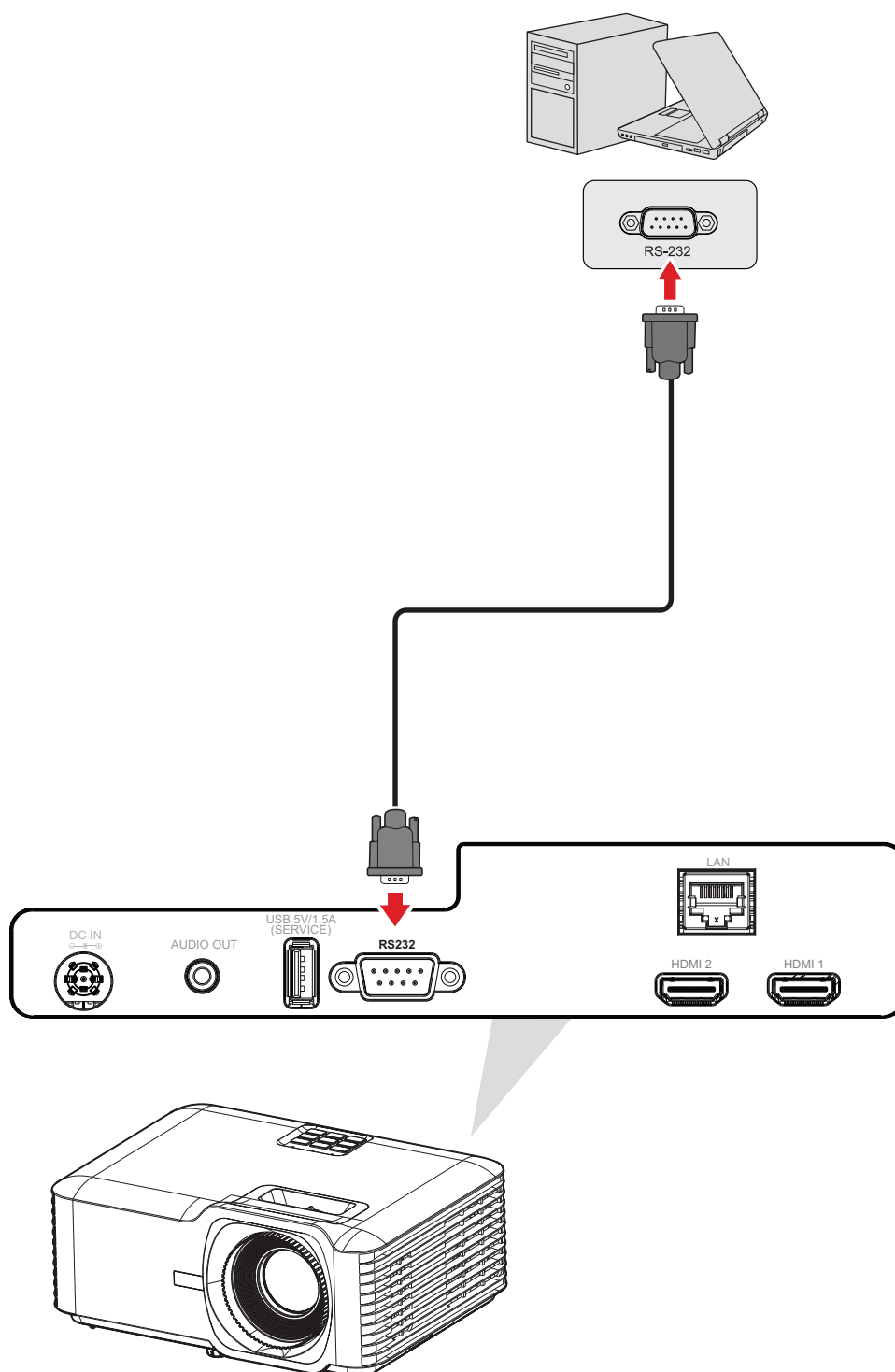
ネットワーク接続

ネットワーク ケーブルをLANポートに差し込みます。



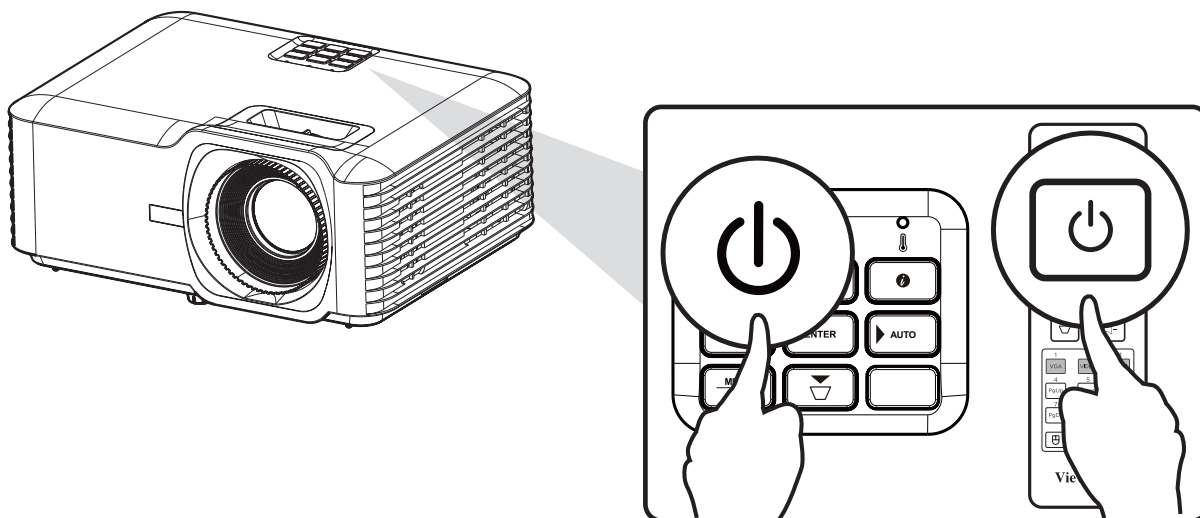
RS-232 接続

RS-232 シリアルポートケーブルを使用してプロジェクターを外部コンピュータに接続すると、電源のオン/オフ、音量調整、入力選択、輝度など、特定の機能を PC からリモートで制御できます。



プロジェクターの使用法

プロジェクターを起動する



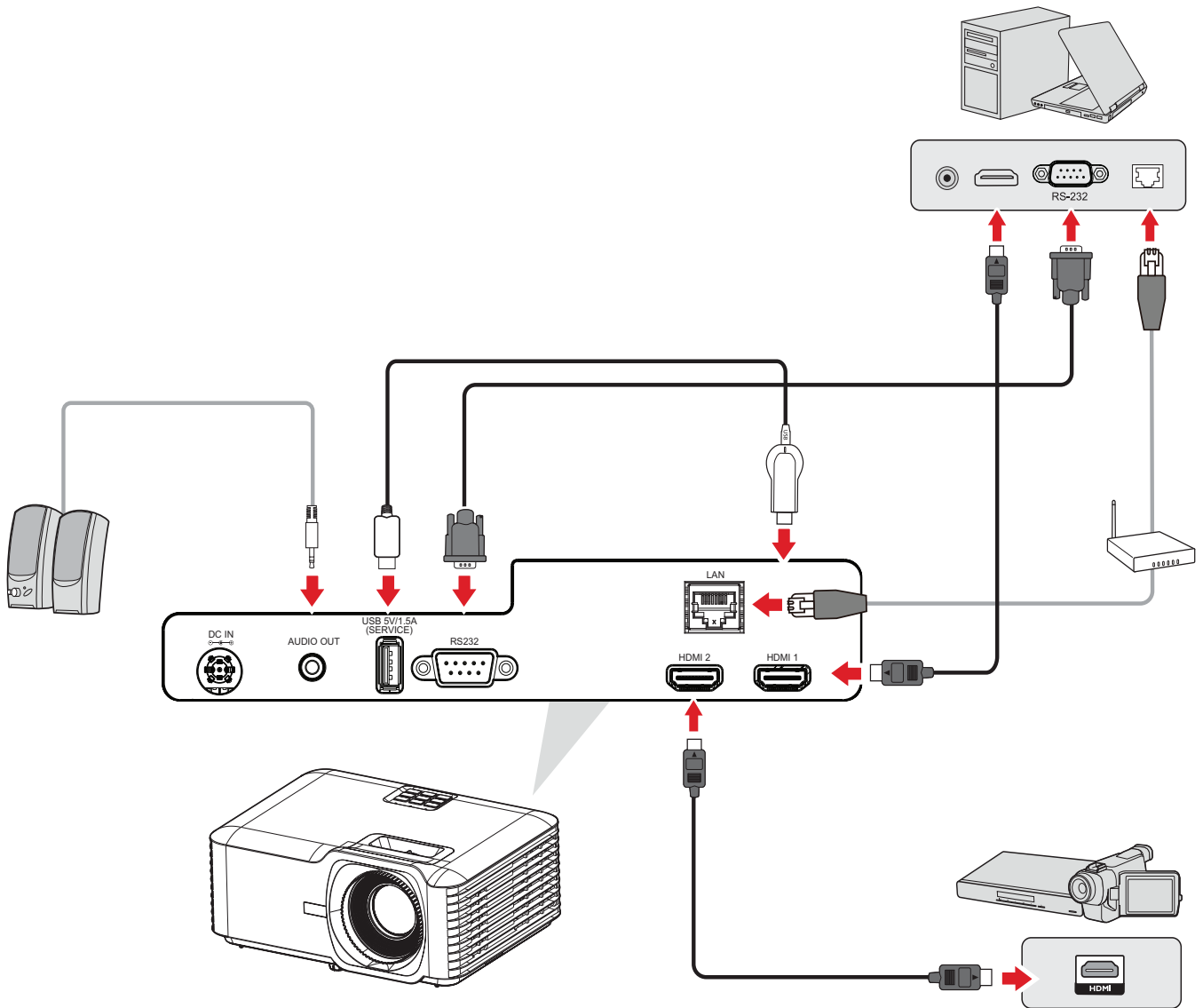
1. プロジェクターの電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。
2. プロジェクターまたはリモコンの**電源**ボタンを押して、プロジェクターをオンにします。

注記：

- 起動中に電源インジケータライトが青く点滅します。
- プロジェクターの電源を初めてオンにすると、優先する言語、投影方向、その他の設定を選択するよう求められます。

入力ソースを選択する

プロジェクターは同時に複数の機器に接続することができます。ただし、一度に1画面しか表示できません。



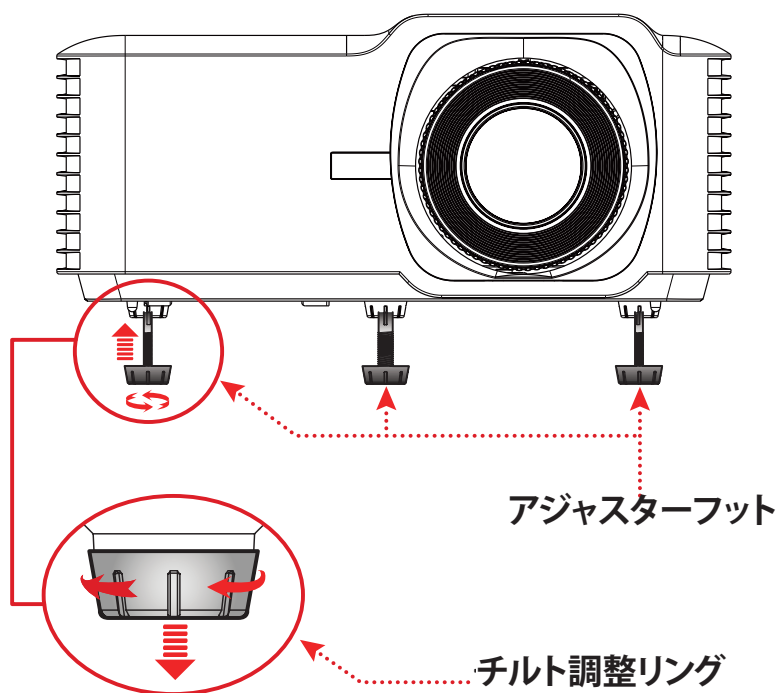
Auto Source (自動ソース) がオンの場合、プロジェクターは自動的に入力ソースを検索します。複数のソースが接続されている場合は、プロジェクターまたはリモコンの **Source (ソース)** ボタンを押して、目的の入力を選択します。

注記： 接続されたソースもオンであることを確認してください。

投影画像を調整する

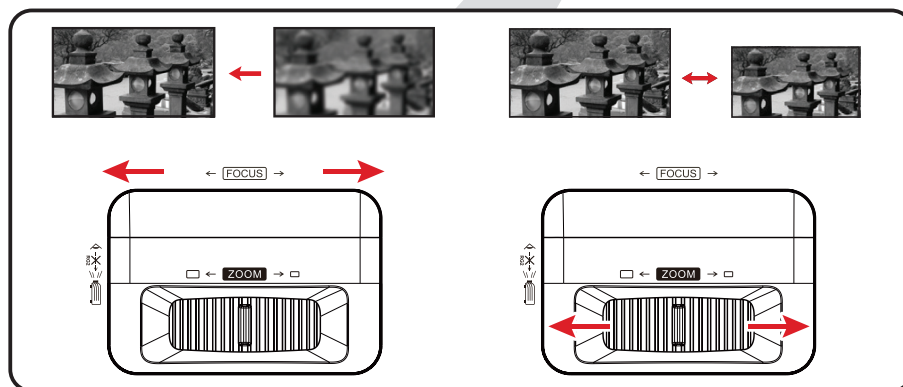
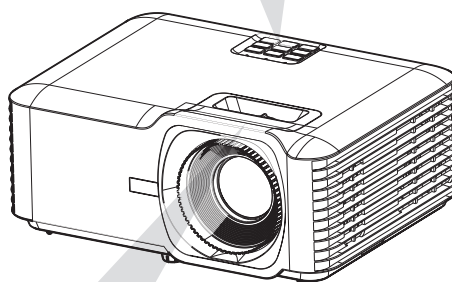
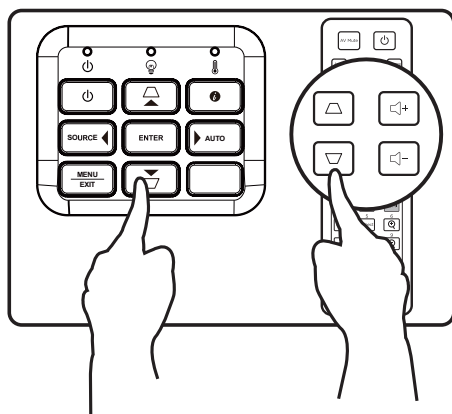
プロジェクターの高さと投影角度を調整する

プロジェクターには3つのアジャスターフットが付属します。フットを調整すると、プロジェクターの高さと垂直投影角度が変わります。



フォーカス、キーストーン、ズームの調整

フォーカスリング、キーストーンキー、またはズームリングを調整することで、画像の鮮明さと位置を改善および調整できます。



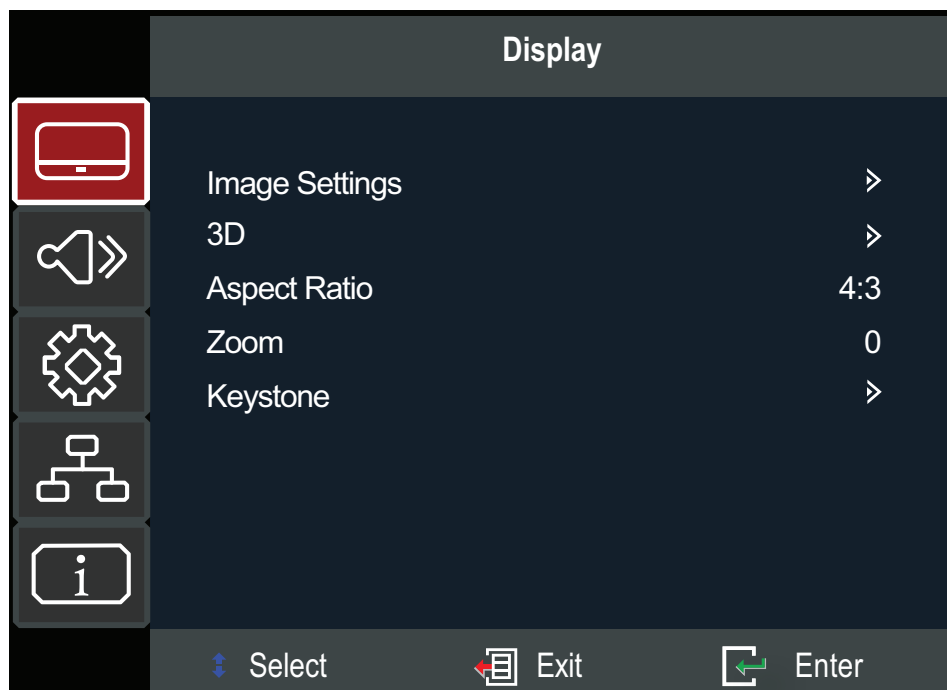
プロジェクターをシャットダウンする






1. プロジェクターまたはリモコンの**電源**ボタンを押すと、「電源オフメッセージ」が表示されます。
2. **電源**ボタンをもう一度押して、確認し、プロジェクターをシャットダウンします。
3. 電源インジケータライトが青色に点滅し、スタンバイモードに入ります。

プロジェクターを操作する

オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー

プロジェクターには、画像調整を行い、さまざまな設定を変更できる多言語オンスクリーンディスプレイメニューがあります。



メニュー		詳細
Display (ディスプレイ)		Image (画像)、3D、Aspect Ratio (アスペクト比)、Zoom (ズーム)、Keystone (キーストーン) 設定を調整します。
Audio (音声)		音量レベルを調整します。または消音します。
Setup (セットアップ)		Projection (投影)、Power (電源)、Security (セキュリティ)、Language (言語)、Input Source (入力ソース) などの設定を調整します。
Network (ネットワーク)		LAN 制御設定を調整します。
Information (情報)		プロジェクター情報を表示します。

メニューナビゲーション

プロジェクターには、画像と設定の調整を行うための多言語オンスクリーンディスプレイメニューがあります。

1. オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを開くには、プロジェクターまたはリモコンの **Menu/Exit (メニュー / 終了)** ボタンを押します。
2. OSD が表示されたら、**ナビゲーション** ボタン (**▲/▼**) を使用して、メインメニューの任意のアイテムを選択します。特定のページで選択を行い、プロジェクターまたはリモコンの **Enter** ボタンを押して、サブメニューに入ります。
3. **ナビゲーション** ボタン (**▲/▼/◀/▶**) を使用して、サブメニューで目的のアイテムを選択し、**Enter** を押して設定を表示します。**ナビゲーション** ボタン (**▲/▼/◀/▶**) を使用して設定を調整します。
4. サブメニューで調整する次のアイテムを選択し、上記と同じ方法で調整します。
5. **Enter** を押して確認すると、メインメニューに戻ります。
6. 終了するには、**Menu/Exit (メニュー / 終了)** ボタンをもう一度押します。OSD メニューが閉じられ、プロジェクターが新しい設定を自動的に保存します。

メインメニュー構成

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション				
Display (ディスプレイ)	Image Setting (画像設定)	Color Mode (カラーモード)	Presentation (プレゼンテーション)			
			Brightest (明るい)			
			Movie (映画)			
			Gaming (ゲーム)			
			User (ユーザー)			
			3D			
		Brightness (輝度)	(-/+ , -50~50)			
		Contrast (コントラスト)	(-/+ , -50~50)			
		Sharpness (シャープネス)	(-/+ , 1~15)			
		Color (色)	(-/+ , -50~50)			
		Tint (色合い)	(-/+ , -50~50)			
		Gamma (ガンマ調整)	Film (フィルム)			
			Video (ビデオ)			
			Graphics (グラフィックス)			
			Standard (2.2) (標準 (2.2))			
		Color Settings (カラー設定)	BrilliantColor™	(-/+ , 1 ~ 10)		
				Color Temperature (色温度)	Warm (暖色)	
					Standard (標準)	
			Cold (寒色)			
			Color Management (カラーマネージメント)	Color (色)	Red (赤)	
					Green (緑)	
					Blue (青)	
					Cyan (藍色)	
Yellow (黄色)						
Magenta (深紅色)						
White (白色)						
Hue/R (色相 /R) (*)	(-/+ , -50~50)					
Saturation/G (彩度 /G) (*)	(-/+ , -50~50)					
Gain/B (ゲイン / B) (*)	(-/+ , -50~50)					
Reset (リセット)						
Exit (終了)						

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
Display (ディスプレイ)	Image Setting (画像設定)	Color Settings (カラー設定)	Color Space (色空間)	Auto (自動)	
				RGB (0~255)	
				RGB (16~235)	
				YUV	
	Light Source Mode (光源モード)	Dynamic Black (ダイナミックブラック)	Eco (エコ)		
			Power 100%~50% (電源 100% ~ 50%)		
			Reset (リセット)		
	3D	3D Mode (3D モード)	Off (オフ)		
			On (オン)		
		3D Format (3D 形式)	Auto (自動)		
			SBS		
			Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)		
			Frame Sequential (フレームシーケンシャル)		
	3D Sync Invert (3D 同期反転)	Off (オフ)			
		On (オン)			
	Aspect Ratio (アスペクト比)	4:3			
		16:9			
		Full (フル)			
		L.BOX			
		Auto (自動)			
	Zoom (ズーム)	(-/+, -5~25)			
	Keystone (キーストーン)	Four Corners (4 コーナー)	Top-Left (左上)		
			Top-Right (右上)		
			Bottom-Left (左下)		
Bottom-Right (右下)					
H. Keystone (水平キーストーン)		(-/+, -30~30)			
V. Keystone (垂直キーストーン)		(-/+, -30~30)			
Reset (リセット)					

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション			
Audio (音声)	Mute (ミュート)	Off (オフ)			
		On (オン)			
Volume (音量)	(-/+, 0~10)				
Setup (セットアップ)	Projection (投影)	Desk Front (デスク正面)			
		Desk Rear (デスク背面)			
		Ceiling Front (天井正面)			
		Ceiling Rear (天井背面)			
	Power Settings (電源設定)	Direct Power On (直接電源オン)	Off (オフ)		
			On (オン)		
		Signal Power On (信号電源オン)	Off (オフ)		
			On (オン)		
	Auto Power Off (自動電源オフ)	(-/+, 0~180) minutes (-/+, 0 ~ 180) 分			
		Power Mode (Standby) (電源モード(スタンバイ))			Active (有効)
	Security (セキュリティ)	Power On Lock (電源オンロック)	Off (オフ)		
			On (オン)		
		Security Timer (セキュリティタイマー)	Month (月)	(-/+, 0~12)	
			Day (日)	(-/+, 0~30)	
			Hour (時間)	(-/+, 0~24)	
	Change Password (パスワードの変更)				

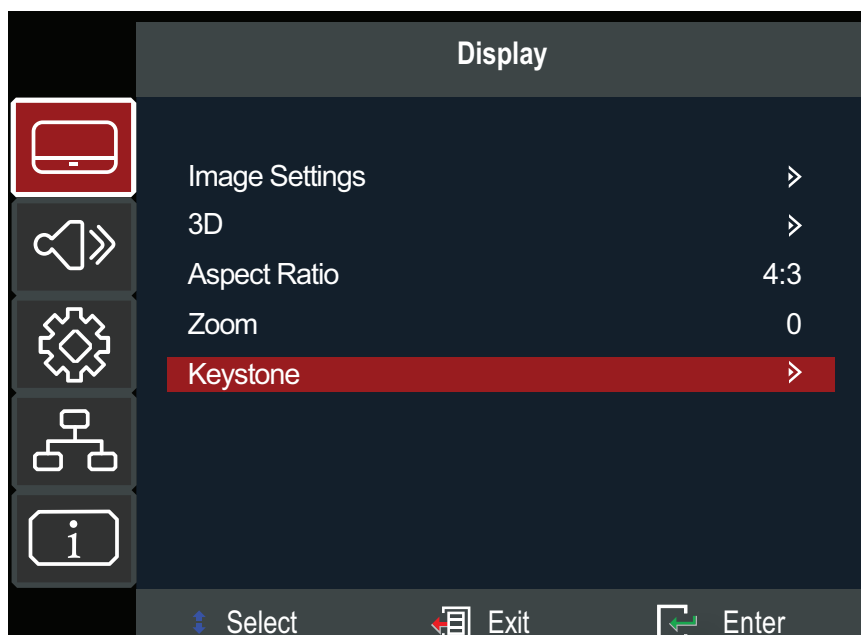
メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Setup (セットアップ)	HDMI CEC	HDMI CEC	Off (オフ)	
			On (オン)	
	Test Pattern (テストパターン)	Test Pattern (テストパターン)	Off (オフ)	
			Green Grid (緑色のグリッド)	
			Magenta Grid (マゼンタ色のグリッド)	
			White Grid (白色のグリッド)	
			White (白色)	
			Test Card (テストカード)	
	Options (オプション)	Language (言語選択)	English	
			Deutsch	
			Français	
			Italiano	
			Español	
			Português	
			Polski	
			Nederlands	
			Svenska	
			Norsk	
			Suomi	
			ελληνικά	
繁體中文				
簡体中文				
日本語				
한국어				
Русский				
Čeština				
عربى				
ไทย				
Türkçe				
Tiếng Việt				
Bahasa Indonesia				

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション		
Setup (セットアップ)	Options (オプション)	Auto Source (自動ソース)	Off (オフ)	
			On (オン)	
		High Altitude (高地)	Off (オフ)	
			On (オン)	
	Keypad Lock (キーパッドロック)	Off (オフ)	On (オン)	
	Splash Screen (スプラッシュスクリーン)	Default (デフォルト)	User (ユーザー)	
	Reset (リセット)	Reset to Default (工場出荷時デフォルトにリセット)		
LAN	LAN	Network Status		
		MAC Address (MAC アドレス)		
		DHCP	Off (オフ)	
			On (オン)	
		IP Address (IP アドレス)	xxx.xxx.xxx	
		Subnet Mask (サブネットマスク)	xxx.xxx.xxx	
		Gateway (ゲートウェイ)	xxx.xxx.xxx	
		DNS	xxx.xxx.xxx	
	Reset (リセット)			
	Control (コントロール)	Crestron	Off (オフ)	
			On (オン)	
		Extron	Off (オフ)	
			On (オン)	
		PJ Link	Off (オフ)	
			On (オン)	
AMX Device Discovery		Off (オフ)		
		On (オン)		
Telnet	Off (オフ)			
	On (オン)			
HTTP	Off (オフ)			
	On (オン)			

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Information (情報)	Serial Number (シリアル番号)		
	Source (ソース)		
	Resolution (解像度)		
	Refresh Rate (リフレッシュレート)		
	Color Mode (カラーモード)		
	Light Source Hours (光源時間)		
	Light Source Mode (光源モード)		
	Firmware Version (ファームウェア バージョン)	System (システム)	
MCU			

メニュー操作

Display Menu (ディスプレイメニュー)



メニュー	詳細														
Image Setting (画像設定)	<u>Color Mode (カラーモード)</u> 視聴の好みに合わせて選択できるいくつかの事前定義されたディスプレイモードがあります。														
	<table border="1"><thead><tr><th>モード</th><th>詳細</th></tr></thead><tbody><tr><td>Presentation (プレゼンテーション)</td><td>ビジネス環境および教育環境のほとんどのニーズに適しています。</td></tr><tr><td>Brightest (明るい)</td><td>明るく十分な照明のある環境に適しています。</td></tr><tr><td>Movie (映画)</td><td>映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。</td></tr><tr><td>Gaming (ゲーム)</td><td>プロジェクターを最適化して最大のコントラストと鮮やかな色を提供し、ゲームをプレイするときに影のディテールを見ることができます。</td></tr><tr><td>User (ユーザー)</td><td>ユーザーのカスタム設定。</td></tr><tr><td>3D</td><td>3D コンテンツ用に最適化されています。 注記:3D メガネが必要です。</td></tr></tbody></table>	モード	詳細	Presentation (プレゼンテーション)	ビジネス環境および教育環境のほとんどのニーズに適しています。	Brightest (明るい)	明るく十分な照明のある環境に適しています。	Movie (映画)	映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。	Gaming (ゲーム)	プロジェクターを最適化して最大のコントラストと鮮やかな色を提供し、ゲームをプレイするときに影のディテールを見ることができます。	User (ユーザー)	ユーザーのカスタム設定。	3D	3D コンテンツ用に最適化されています。 注記: 3D メガネが必要です。
	モード	詳細													
	Presentation (プレゼンテーション)	ビジネス環境および教育環境のほとんどのニーズに適しています。													
	Brightest (明るい)	明るく十分な照明のある環境に適しています。													
	Movie (映画)	映画を見るための詳細と色の最高のバランスを提供します。													
	Gaming (ゲーム)	プロジェクターを最適化して最大のコントラストと鮮やかな色を提供し、ゲームをプレイするときに影のディテールを見ることができます。													
User (ユーザー)	ユーザーのカスタム設定。														
3D	3D コンテンツ用に最適化されています。 注記: 3D メガネが必要です。														

メニュー	詳細
<p>Image Setting (画像設定)</p>	<p><u>Brightness (輝度)</u> 値が大きいほど、画像は明るくなります。値を小さくすると、画像が暗くなります。</p> <p><u>Contrast (コントラスト)</u> 値が大きいほど、コントラストが大きくなります。選択した入力と視聴環境に合うように、Brightness (輝度) 設定を以前に調整した後で、これを使用してピークホワイトレベルを設定します。</p> <p><u>Sharpness (シャープネス)</u> 値が大きいほど鮮明な画像になります。低い値では画像が柔らかくなります。</p> <p><u>Color (色)</u> 白黒から完全に飽和した色に画像を調整します。</p> <p><u>Tint (色合い)</u> 値が高いほど、画像は緑色が強くなります。値が低いほど、画像は赤色が強くなります。</p> <p><u>Gamma (ガンマ調整)</u> 入力ソースと画像輝度の関係を反映しています。</p>

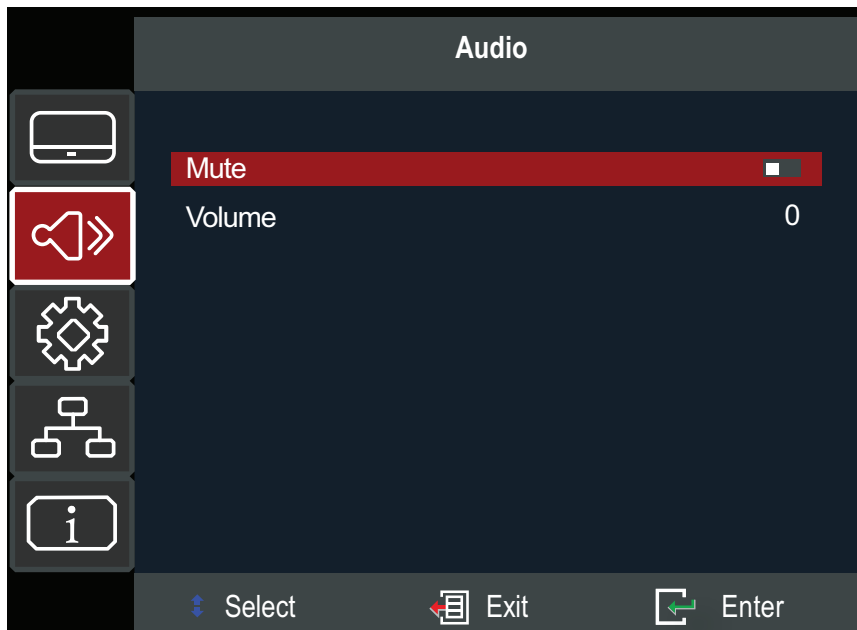
メニュー	詳細										
Image Setting (画像設定)	Color Settings (カラー設定)										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="587 241 858 293">設定</th> <th data-bbox="858 241 1422 293">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="587 293 858 427">BrilliantColor™</td> <td data-bbox="858 293 1422 427">画像絵の中で真の、より鮮やかな色を提供しながら、より高い明るさを可能にする色処理アルゴリズムと強化。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 427 858 517">Color Temperature (色温度)</td> <td data-bbox="858 427 1422 517">Warm (暖色)、Standard (標準)、または Cold (冷色) から選択します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 517 858 1211">Color Management (カラーマネージメント)</td> <td data-bbox="858 517 1422 1211"> <p>会議室、講堂、ホームシアターなど、照明レベルが制御された恒久的な設備でのみ、カラーマネージメントを検討する必要があります。</p> <p>カラーマネージメントは、必要に応じて、より正確な色再現を可能にするために、詳細な色制御調整を提供します。</p> <p>さまざまなカラーテストパターンを含み、モニター、テレビ、プロジェクターなどでカラープレゼンテーションをテストするために使用できるテストディスクを購入した場合は、ディスクから任意の画像をスクリーンに投影して、Color Management (カラーマネージメント) メニューに入り、調整することができます。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1211 858 1294">Color Space (色空間)</td> <td data-bbox="858 1211 1422 1294">Auto (自動)、RGB (0 ~ 255)、RGB (16 ~ 235)、Yuv 色空間から選択します。</td> </tr> </tbody> </table>	設定	詳細	BrilliantColor™	画像絵の中で真の、より鮮やかな色を提供しながら、より高い明るさを可能にする色処理アルゴリズムと強化。	Color Temperature (色温度)	Warm (暖色)、Standard (標準)、または Cold (冷色) から選択します。	Color Management (カラーマネージメント)	<p>会議室、講堂、ホームシアターなど、照明レベルが制御された恒久的な設備でのみ、カラーマネージメントを検討する必要があります。</p> <p>カラーマネージメントは、必要に応じて、より正確な色再現を可能にするために、詳細な色制御調整を提供します。</p> <p>さまざまなカラーテストパターンを含み、モニター、テレビ、プロジェクターなどでカラープレゼンテーションをテストするために使用できるテストディスクを購入した場合は、ディスクから任意の画像をスクリーンに投影して、Color Management (カラーマネージメント) メニューに入り、調整することができます。</p>	Color Space (色空間)	Auto (自動)、RGB (0 ~ 255)、RGB (16 ~ 235)、Yuv 色空間から選択します。
	設定	詳細									
	BrilliantColor™	画像絵の中で真の、より鮮やかな色を提供しながら、より高い明るさを可能にする色処理アルゴリズムと強化。									
	Color Temperature (色温度)	Warm (暖色)、Standard (標準)、または Cold (冷色) から選択します。									
	Color Management (カラーマネージメント)	<p>会議室、講堂、ホームシアターなど、照明レベルが制御された恒久的な設備でのみ、カラーマネージメントを検討する必要があります。</p> <p>カラーマネージメントは、必要に応じて、より正確な色再現を可能にするために、詳細な色制御調整を提供します。</p> <p>さまざまなカラーテストパターンを含み、モニター、テレビ、プロジェクターなどでカラープレゼンテーションをテストするために使用できるテストディスクを購入した場合は、ディスクから任意の画像をスクリーンに投影して、Color Management (カラーマネージメント) メニューに入り、調整することができます。</p>									
	Color Space (色空間)	Auto (自動)、RGB (0 ~ 255)、RGB (16 ~ 235)、Yuv 色空間から選択します。									
	Light Source Mode (光源モード)										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="587 1373 858 1424">モード</th> <th data-bbox="858 1373 1422 1424">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="587 1424 858 1559">Dynamic Black (ダイナミックブラック)</td> <td data-bbox="858 1424 1422 1559">最適なコントラストパフォーマンスを提供するために、画像の明るさを自動的に調整します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1559 858 1648">Eco (エコ)</td> <td data-bbox="858 1559 1422 1648">光出力を暗くし、消費電力を低下させます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 1648 858 1733">Power (電源)</td> <td data-bbox="858 1648 1422 1733">輝度モードでは、電力率 (50% ~ 100%) を選択します。</td> </tr> </tbody> </table>	モード	詳細	Dynamic Black (ダイナミックブラック)	最適なコントラストパフォーマンスを提供するために、画像の明るさを自動的に調整します。	Eco (エコ)	光出力を暗くし、消費電力を低下させます。	Power (電源)	輝度モードでは、電力率 (50% ~ 100%) を選択します。		
	モード	詳細									
Dynamic Black (ダイナミックブラック)	最適なコントラストパフォーマンスを提供するために、画像の明るさを自動的に調整します。										
Eco (エコ)	光出力を暗くし、消費電力を低下させます。										
Power (電源)	輝度モードでは、電力率 (50% ~ 100%) を選択します。										
Reset (リセット)											
<p>現在のディスプレイモードの設定 (Brightness (輝度)、Contrast (コントラスト)、Sharpness (シャープネス)、Color (色)、Tint (色合い)、Gamma (ガンマ調整)、Brilliant Color、Temperature (色温度)、Color Management (カラーマネージメント)、Color Space (色空間)、Light Source Mode (光源モード)) をデフォルト値に戻します。</p>											

メニュー	詳細										
3D	<p><u>3D Mode (3D モード)</u> 3D 機能を有効または無効にします。</p> <p><u>3D Format (3D 形式)</u> [自動]、[SBS]、[上下]、[フレームシーケンシャル] は形式から選択します。</p> <p>注記: Blu-ray 3D ソースは自動的に検出され、オプションは選択できません。</p> <table border="1" data-bbox="603 533 1423 990"> <thead> <tr> <th data-bbox="603 533 876 589">オプション</th> <th data-bbox="876 533 1423 589">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="603 589 876 678">Auto (自動)</td> <td data-bbox="876 589 1423 678">3D 識別信号が検出されると、3D 形式が自動的に選択されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 678 876 734">SBS</td> <td data-bbox="876 678 1423 734">サイドバイサイド形式で表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 734 876 857">Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)</td> <td data-bbox="876 734 1423 857">トップアンドボトム形式で表示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 857 876 990">Frame Sequential (フレームシーケンシャル)</td> <td data-bbox="876 857 1423 990">フレームシーケンシャル形式で表示します。</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>3D Sync Invert (3D 同期反転)</u> 3D 同期反転機能を有効または無効にします。</p>	オプション	詳細	Auto (自動)	3D 識別信号が検出されると、3D 形式が自動的に選択されます。	SBS	サイドバイサイド形式で表示します。	Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)	トップアンドボトム形式で表示します。	Frame Sequential (フレームシーケンシャル)	フレームシーケンシャル形式で表示します。
オプション	詳細										
Auto (自動)	3D 識別信号が検出されると、3D 形式が自動的に選択されます。										
SBS	サイドバイサイド形式で表示します。										
Top and Bottom (トップ・アンド・ボトム)	トップアンドボトム形式で表示します。										
Frame Sequential (フレームシーケンシャル)	フレームシーケンシャル形式で表示します。										

注記: このプロジェクターは、DLP-Link 3D ソリューションを備えた 3D 対応プロジェクターです。3D メガネが DLP-Link 3D 用であることを確認してください。このプロジェクターは、**HDMI 1/HDMI 2** ポートを介してフレームシーケンシャル (Page-Flip) 3D をサポートします。最高性能を達成するには、1920 x 1080 の解像度をお勧めします。4K (3840 x 2160) の解像度は 3D モードではサポートされていないことに注意してください。

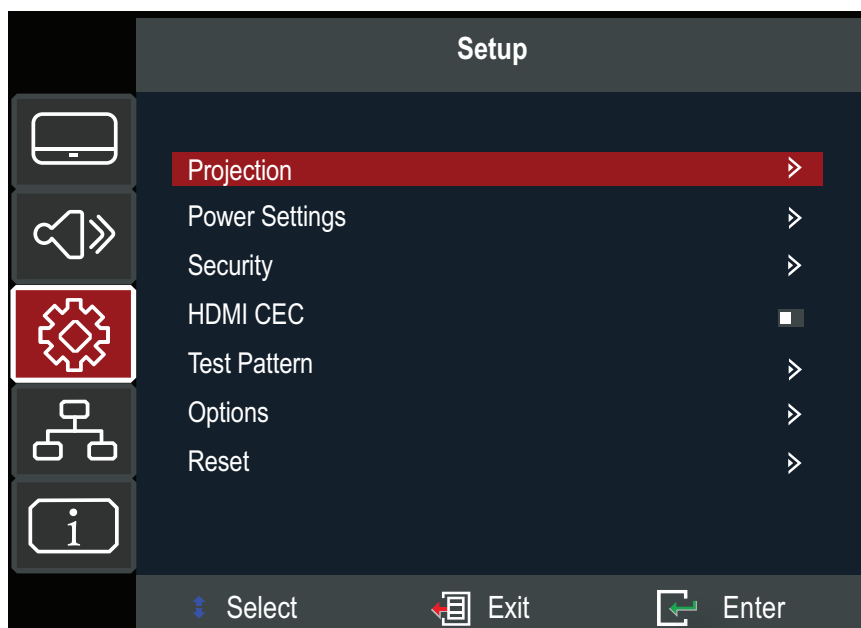
メニュー	詳細												
<p style="text-align: center;">Aspect Ratio (アスペクト比)</p>	<p>投影画像のアスペクト比を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="560 241 1450 1099"> <thead> <tr> <th data-bbox="560 241 834 297">アスペクト比</th> <th data-bbox="834 241 1450 297">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="560 297 834 539">4:3</td> <td data-bbox="834 297 1450 539">4:3 のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および 4:3 アスペクト比の DVD ムービーのような 4:3 画像に最適です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="560 539 834 707">16:9</td> <td data-bbox="834 539 1450 707">16:9 のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに 16:9 のアスペクト比の画像に最適です。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="560 707 834 837">L.BOX</td> <td data-bbox="834 707 1450 837">非 16:9 レターボックスソースの場合、外部 16:9 レンズを使用して 2.35:1 のアスペクト比をフル解像度で表示する場合。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="560 837 834 893">Full (フル)</td> <td data-bbox="834 837 1450 893">画像を画面いっぱいに拡大します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="560 893 834 1099">Auto (自動)</td> <td data-bbox="834 893 1450 1099">プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3 でも 16:9 でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。</td> </tr> </tbody> </table>	アスペクト比	詳細	4:3	4:3 のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および 4:3 アスペクト比の DVD ムービーのような 4:3 画像に最適です。	16:9	16:9 のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに 16:9 のアスペクト比の画像に最適です。	L.BOX	非 16:9 レターボックスソースの場合、外部 16:9 レンズを使用して 2.35:1 のアスペクト比をフル解像度で表示する場合。	Full (フル)	画像を画面いっぱいに拡大します。	Auto (自動)	プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3 でも 16:9 でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。
アスペクト比	詳細												
4:3	4:3 のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および 4:3 アスペクト比の DVD ムービーのような 4:3 画像に最適です。												
16:9	16:9 のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに 16:9 のアスペクト比の画像に最適です。												
L.BOX	非 16:9 レターボックスソースの場合、外部 16:9 レンズを使用して 2.35:1 のアスペクト比をフル解像度で表示する場合。												
Full (フル)	画像を画面いっぱいに拡大します。												
Auto (自動)	プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3 でも 16:9 でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。												
<p style="text-align: center;">Zoom (ズーム)</p>	<p>投影画像を縮小または拡大します。</p>												
<p style="text-align: center;">Keystone (キーストーン)</p>	<table border="1" data-bbox="560 1189 1450 1850"> <thead> <tr> <th data-bbox="560 1189 834 1245">オプション</th> <th data-bbox="834 1189 1450 1245">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="560 1245 834 1610"> <p style="text-align: center;">Four Corners (4 コーナー)</p> </td> <td data-bbox="834 1245 1450 1610"> <p>投影面が水平でないときに、各コーナーを調整して正方形の画像を作成します。</p> <p>注記: Four Corners (4 コーナー) を調整すると、Aspect Ratio (アスペクト比)、Zoom (ズーム) メニューが無効になります。それらを有効にするには、キーストーン設定をデフォルトにリセットします。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="560 1610 834 1700"> <p style="text-align: center;">H. Keystone (水平 キーストーン)</p> </td> <td data-bbox="834 1610 1450 1700"> <p>画像の歪みを水平に調整します。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="560 1700 834 1789"> <p style="text-align: center;">V. Keystone (垂直 キーストーン)</p> </td> <td data-bbox="834 1700 1450 1789"> <p>画像の歪みを垂直に調整します。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="560 1789 834 1850"> <p style="text-align: center;">Reset (リセット)</p> </td> <td data-bbox="834 1789 1450 1850"> <p>キーストーン設定をデフォルトに戻します。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	オプション	詳細	<p style="text-align: center;">Four Corners (4 コーナー)</p>	<p>投影面が水平でないときに、各コーナーを調整して正方形の画像を作成します。</p> <p>注記: Four Corners (4 コーナー) を調整すると、Aspect Ratio (アスペクト比)、Zoom (ズーム) メニューが無効になります。それらを有効にするには、キーストーン設定をデフォルトにリセットします。</p>	<p style="text-align: center;">H. Keystone (水平 キーストーン)</p>	<p>画像の歪みを水平に調整します。</p>	<p style="text-align: center;">V. Keystone (垂直 キーストーン)</p>	<p>画像の歪みを垂直に調整します。</p>	<p style="text-align: center;">Reset (リセット)</p>	<p>キーストーン設定をデフォルトに戻します。</p>		
オプション	詳細												
<p style="text-align: center;">Four Corners (4 コーナー)</p>	<p>投影面が水平でないときに、各コーナーを調整して正方形の画像を作成します。</p> <p>注記: Four Corners (4 コーナー) を調整すると、Aspect Ratio (アスペクト比)、Zoom (ズーム) メニューが無効になります。それらを有効にするには、キーストーン設定をデフォルトにリセットします。</p>												
<p style="text-align: center;">H. Keystone (水平 キーストーン)</p>	<p>画像の歪みを水平に調整します。</p>												
<p style="text-align: center;">V. Keystone (垂直 キーストーン)</p>	<p>画像の歪みを垂直に調整します。</p>												
<p style="text-align: center;">Reset (リセット)</p>	<p>キーストーン設定をデフォルトに戻します。</p>												

Audio Menu (オーディオメニュー)



メニュー	詳細
Mute (ミュート)	一時的に音をオフにします。
Volume (音量)	音量レベルを調整します。

Setup Menu (セッアップメニュー)



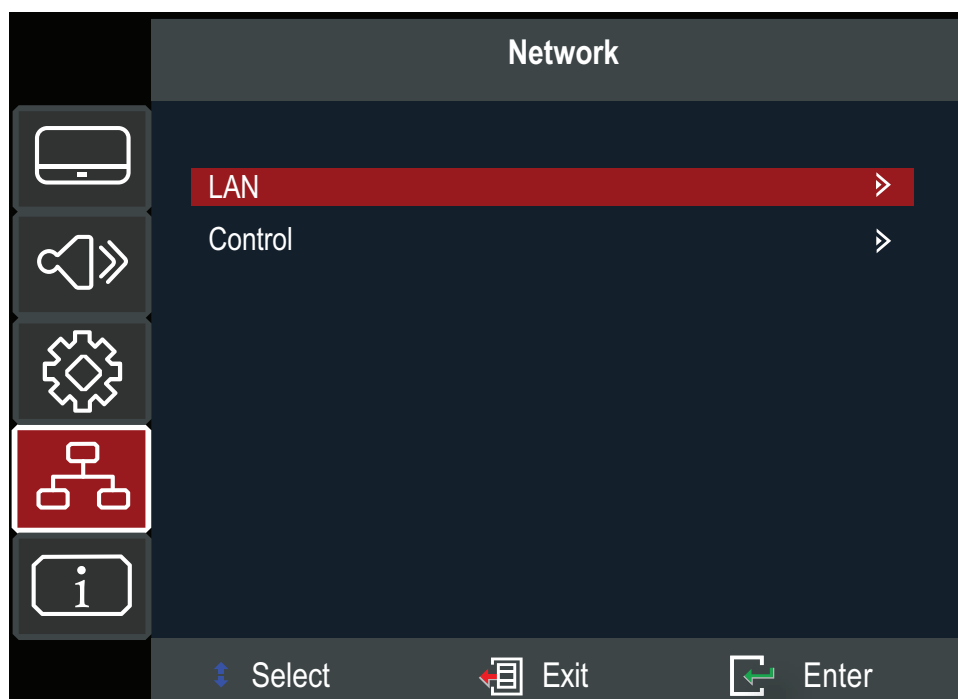
メニュー	詳細
Projection (投影)	好ましい投影場所を選択します: Desk Front (デスク正面)、Desk Rear (デスク背面)、Ceiling Front (天井正面)、Ceiling Rear (天井背面)。
Power Settings (電源設定)	<p><u>Direct Power On (直接電源オン)</u> プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを押すことなく、AC 電源が供給されるときにプロジェクターに自動的に電源を入れます。</p> <p><u>Signal Power On (信号電源オン)</u> プロジェクターまたはリモコンに電源ボタンを押すことなく、信号が検出されたときにプロジェクターに自動的に電源を入れます。</p> <p><u>Auto Power Off (自動電源オフ)</u> プロジェクターに信号が送信されていないときに、カウントダウンタイマーが開始されます。カウントダウンが終了すると、プロジェクターは自動的に電源が切れます (数分後)。</p> <p><u>Power Mode (Standby) (電源モード(スタンバイ))</u> プロジェクターがスタンバイモードに入ったときの優先機能を [アクティブ] または [エコ] の中から選択します。</p>

メニュー	詳細
Security (セキュリティ)	<p><u>Power On Lock (電源オンロック)</u> プロジェクターを使用する前に、パスワードプロンプトを有効または無効にします。 注記: デフォルトのパスワードは次のとおりです: 1234</p> <p><u>Security Timer (セキュリティタイマー)</u> プロジェクターを使用できる時間を設定します。この時間が経過すると、パスワードを再度入力するように要求されます。</p> <p><u>Change Password (パスワードの変更)</u> パスワードを設定または変更します。 注記: OSD メッセージに従って、最初に現在のパスワードを入力し、次に新しいパスワード (セキュリティコード) を入力してください。新しいパスワードをもう一度入力して、新しいパスワードを確認します。</p>
HDMI CEC	<p>HDMI CEC 互換性のあるデバイスを HDMI ケーブルを使用してプロジェクターに接続すると、プロジェクターの OSD の HDMI CEC 制御機能を使用して、同じ電源オンまたは電源オフステータスでプロジェクターを制御できます。これにより、グループ内の 1 つのデバイスまたは複数のデバイスを HDMI CEC を介して電源を入れたり、電源を切ったりすることができます。</p> <p>注記:</p> <ul style="list-style-type: none"> • CEC 機能が正常に動作するためには、デバイスが HDMI ケーブルを介してプロジェクターの HDMI 入力に正しく接続され、その CEC 機能がオンになっていることを確認してください。 • HDMI 1 ポートと HDMI 2 ポートの両方が占有されている場合、CEC 機能は正しいソースを検出できません。 • 接続されたデバイスによっては、CEC 機能が機能しない場合があります。
Test Pattern (テストパターン)	<p>緑色のグリッド、マゼンタ色のグリッド、白色のグリッド、白色、テストカードからテストパターンを選択するか、この機能を無効 (オフ) にします。</p>

メニュー	詳細						
Options (オプション)	<p><u>Language (言語選択)</u> オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューの言語を選択します。</p> <p><u>Auto Source (自動ソース)</u> 利用可能な入力ソースを自動的に見つけます。</p> <table border="1" data-bbox="603 421 1409 857"> <thead> <tr> <th data-bbox="603 421 876 477">オプション</th> <th data-bbox="876 421 1409 477">詳細</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="603 477 876 607">Off (オフ)</td> <td data-bbox="876 477 1409 607">現在の入力選択のみを検索します。Source (ソース) ボタンを押すと、ソースのリストが表示されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 607 876 857">オン</td> <td data-bbox="876 607 1409 857">利用可能な入力ソースを自動的に見つけます。Source (ソース) ボタンを押すと、次のソースが自動的に検出されます。 注記: スキャン順序は、HDMI 1 > HDMI 2 です。</td> </tr> </tbody> </table> <p><u>High Altitude (高地)</u> オンのとき、ファンはより速くスピンして、冷却と性能を向上させます。これは、空気が薄い高地環境に役立ちます。</p> <p><u>Keypad Lock (キーパッドロック)</u> Power (電源) キーを除くすべてのキーパッドボタンをロックします。 注記: キーパッドのロックを解除するには、プロジェクターの Enter キーを 5 秒間押し続けます。リモコンを使用して次の順に選択します：Setup (セットアップ) > Keypad Lock (キーパッドロック) > Off (オフ)。</p> <p><u>Splash Screen (スプラッシュスクリーン)</u> 「起動画面」を設定します。変更が行われた場合、プロジェクターが次に電源を入れたときに有効になります。 注記: 起動画面の画像を変更するには「スプラッシュツール」を使用します。</p>	オプション	詳細	Off (オフ)	現在の入力選択のみを検索します。 Source (ソース) ボタンを押すと、ソースのリストが表示されます。	オン	利用可能な入力ソースを自動的に見つけます。 Source (ソース) ボタンを押すと、次のソースが自動的に検出されます。 注記: スキャン順序は、HDMI 1 > HDMI 2 です。
	オプション	詳細					
Off (オフ)	現在の入力選択のみを検索します。 Source (ソース) ボタンを押すと、ソースのリストが表示されます。						
オン	利用可能な入力ソースを自動的に見つけます。 Source (ソース) ボタンを押すと、次のソースが自動的に検出されます。 注記: スキャン順序は、HDMI 1 > HDMI 2 です。						
Reset (リセット)	<p>設定をデフォルトに戻します。 注記: リセットする場合、次の設定はそのまま維持されます：Language (言語)、Projection (投影)、High Altitude (高地)、Security Settings (セキュリティ設定)、Zoom (ズーム)、Keystone Settings (キーストーン設定)。</p>						

Network Menu (ネットワークメニュー)

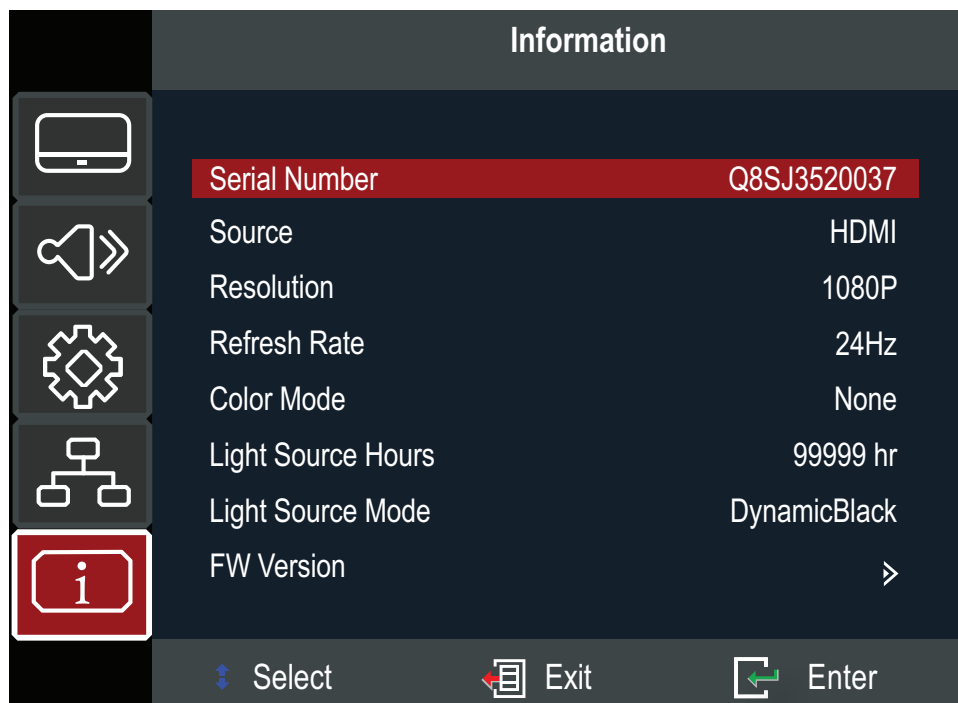
本プロジェクターには、さまざまなネットワーク機能とリモート管理機能が備わっています。LAN ケーブルを使用すれば、プロジェクターを既存のネットワークに接続できます。



メニュー	詳細
LAN	ネットワーク情報を表示し、DHCPプロトコルを有効/無効にします。 注記： DHCP が有効になると、プロジェクターはプロジェクターの現在の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS アドレスを自動的に検出します。
Control (コントロール)	ネットワーク制御スイートを有効または無効にします。

Information Menu (情報メニュー)

Serial Number (シリアル番号)、Source (ソース)、Resolution (解像度)、Refresh Rate (リフレッシュレート)、Color Mode (カラーモード)、Light Source Hours (光源時間)、Light Source Mode (光源モード)、Firmware Version information (ファームウェアバージョン情報) を表示します。



付録

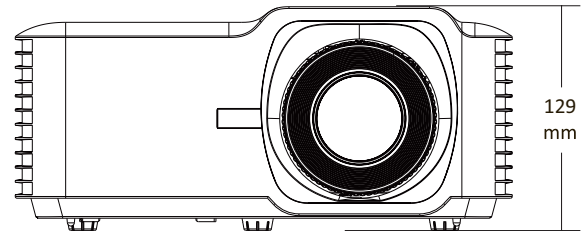
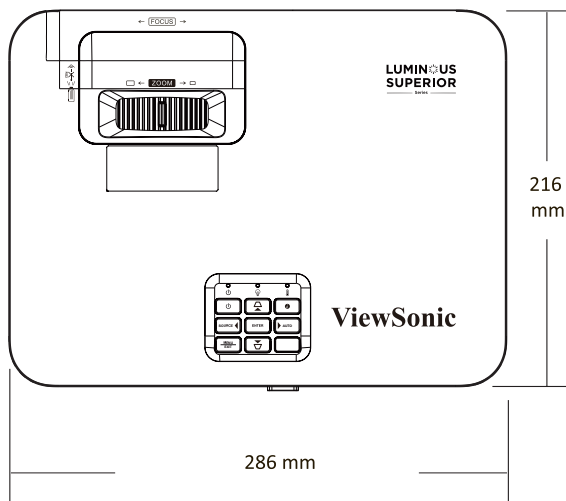
仕様

項目	区分	仕様
プロジェクター	タイプ	レーザー
	画面サイズ	30"~300"
	スローレシオ	1.4~2.24 (100 インチ @3.10m)
	レンズ	F=2.5 ~ 3.26、f=20.911 ~ 32.62 mm
	ディスプレイシステム	1-CHIP DMD
入力信号	HDMI (v. 1.4)	f _h : 15 ~ 102kHz、f _v : 23 ~ 120Hz、ピクセルレート: 165MHz
解像度	標準	1920 (H) x 1080 (V)
電源	入力電圧	DC100 ~ 240V、50/60Hz(自動切替)
動作環境	気温	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
	湿度	10% ~ 80%(非結露)
	高度	0 ~ 760m (0 ~ 2,500 フィート)、0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F) 760 ~ 1,520m (2,500 ~ 5,000 フィート)、0°C ~ 35°C (32°F ~ 95°F) 1,520 ~ 3,048m (5,000 ~ 10,000 フィート)、0°C ~ 30°C (32°F ~ 86°F)
保管環境	気温	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)
	湿度	5% ~ 90%(非結露)
	高度	0 ~ 12,100 m (0 ~ 40,000 フィート)
寸法	寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	286 x 216 x 129 mm (11.26" x 8.50" x 5.08")
重量	寸法	3.00 kg (6.61 lbs)
節約モード	オン ¹	210W (標準)
	オフ	< 0.5W (スタンバイ)

¹試験条件は EEI 標準に従ったものです。

プロジェクターの寸法

286 mm (幅) x 216 mm (奥行) x 129 mm (高さ)



タイミングチャート

ビデオ入力

タイミング	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ドットクロック周波数 (MHz)
480i	720(1440) x 480	15.73	59.94	27
480p	720 x 480	31.47	59.94	27
720/50p	1280 x 720	37.50	50	74.25
720/60p		45.00	60	74.25
1080/24P	1920 x 1080	27.00	24	74.25
1080/50i		28.13	50	74.25
1080/60i		33.75	60	74.25
1080/50P		56.25	50	148.50
1080/60P		67.50	60	148.50

PC 入力

解像度	モード	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	クロック (MHz)
720 x 400	720 x 400_70	70.09	31.47	28.32
800 x 600	SVGA_56	56.25	35.16	36.00
	SVGA_60	60.32	37.88	40.00
	SVGA_72	72.19	48.08	50.00
	SVGA_75	75.00	46.88	49.50
1024 x 768	XGA_60	60.00	48.36	65.00
	XGA_70	70.07	56.48	75.00
	XGA_75	75.03	60.02	78.75
1152 x 870	1152 x 870_75	75.00	67.50	108.00
1280 x 1024	SXGA_60	60.02	63.98	108.00
	SXGA_75	75.03	79.98	135.00
1280 x 960	1280 x 960_60	60.00	60.00	108.00
1440 x 900	WXGA+_60	59.89	55.94	106.50
1680 x 1050	1680 x 1050_60	59.95	65.29	146.25
640 x 480 @ 67Hz	MAC13	66.67	35.00	30.24

3D サポートタイミング

HDMI 3D		
フレームパッキング形式		
タイミング	解像度	リフレッシュレート (Hz)
1080p	1920 x 1080	24
720p	1280 x 720	50 / 60
サイドバイサイド形式		
タイミング	解像度	リフレッシュレート (Hz)
1080i	1920 x 1080	50 / 60
トップアンドボトム形式		
タイミング	解像度	リフレッシュレート (Hz)
1080p	1920 x 1080	24
720p	1280 x 720	50 / 60

トラブルシューティング

本章では、プロジェクターを使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
プロジェクターの電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">電源コードがプロジェクターとコンセントに正しく接続されていることを確認してください。冷却プロセスが完了していない場合は、終了するまで待ってからもう一度プロジェクターの電源を入れてください。上記の方法でうまくいかない場合は、別のコンセントまたは同じコンセントで別の電気機器を試してください。
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">ビデオソースケーブルが正しく接続され、ビデオソースがオンになっていることを確認してください。入力ソースが自動的に選択されていない場合は、プロジェクターまたはリモコンの「Source Input (ソース入力)」で正しいソースを選択してください。
画像がぼやけている	<ul style="list-style-type: none">フォーカススイッチを使ってフォーカスを調整すると、プロジェクターレンズのフォーカスを正確に合わせることができます。プロジェクターとスクリーンが正しく整列していることを確認してください。必要に応じて、プロジェクターの高さ、および投影角度と方向を調整してください。
画像が逆になっている	<ul style="list-style-type: none">OSD メニューを開き、[Setup (セットアップ)] > [Projection (投影)] に移動し、投影オプションを調整してください。
16:9 の DVD を投影すると映像が引き伸ばされる	<ul style="list-style-type: none">アナモルフィック DVD または 16:9 の DVD を再生すると、プロジェクターは 16:9 で最高の画像を表示します。4:3 形式の DVD タイトルを再生する場合は、プロジェクター OSD メニューの形式トを 4:3 に変更してください。DVD プレーヤーのディスプレイ形式を 16:9 (ワイド) アスペクト比としてセットアップしてください。

問題	解決策
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> • リモコンとプロジェクターの間に障害物がないことを確認してください。そしてそれらが 8 m (26 フィート) の範囲内にあることを確認してください。 • 電池が切れている可能性があります。確認して、必要に応じて交換してください。
プロジェクターが、すべての制御に応答しない	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクターをオフにし、電源コードを抜いてください。少なくとも 20 秒待ってから、再接続して再試行してください。

LED インジケータ

警告インジケータ（以下を参照）が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします。プロジェクターから電源コードを抜いて、30 秒間待って、もう一度やり直してください。警告インジケータが点灯または点滅する場合は、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

ステータスと説明	電源インジケータライト		温度インジケータライト	光源インジケータライト
	赤	青	赤	赤
スタンバイ状態 (電源コード入力)	点灯			
電源オン (ウォーミング中)		点滅 (1 秒オフ / 1 秒オン)		
電源オンとランプ照明		点灯		
電源オフ (冷却中)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン) 冷却ファンがオフになったら、赤いライトが点灯します。		
エラー (ランプ故障)	点滅			点灯
エラー (ファン故障)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	

メンテナンス

お手入れの際の注意

- プロジェクターのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- プロジェクターから部品を取り外さないでください。プロジェクターの部品を交換する必要がある場合は、ViewSonic® または販売店にお問い合わせください。
- 絶対にケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- プロジェクターは十分注意してお取扱ってください。傷がついた場合、跡が残る可能性があります。

レンズを清掃する

- ほこりを取り除くために圧縮空気のキャニスターを使用してください。
- それでもレンズが汚れている場合は、レンズクリーニングペーパーを使用するか、レンズクリーナーで柔らかい布を湿らせて、表面をやさしく拭いてください。

注意： レンズを研磨剤でこすらないでください。

ケースのお手入れ

- 柔らかい、糸くずの出ない乾いた布で汚れやほこりを取り除いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量ケースにつけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

注意： ワックス、アルコール、ベンゼン、シンナー、その他の化学洗剤を絶対に使用しないでください。

プロジェクターを保管する

プロジェクターを長期間保管する場合は、次の手順を実行してください。

- 保管場所の温度と湿度が推奨範囲内であることを確認してください。
- アジャスターフットを完全に引き込みます。
- リモコンから電池を取り出します。
- プロジェクターを、元の梱包材または同等の梱包材で梱包してください。

免責事項

- ViewSonic® は、レンズまたはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗剤は、プロジェクターのレンズおよび / またはケースを損傷することが報告されています。
- ViewSonic® は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

規制およびサービス情報

コンプライアンス情報

本セクションでは、関連するすべての要件と規制に関する声明を扱います。確認された対应用途は、本体上の銘板ラベルおよび関連マーキングを参照してください。

FCCコンプライアンス声明

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。本装置は、FCC規則パート15に従って試験され、クラスBデジタル装置の制限に準拠していることが判明しています。

これらの制限は、住宅における設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（装置の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えてください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本装置を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

警告：コンプライアンス担当者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、本装置の操作権限が失われる可能性があることに注意してください。

カナダ産業省の声明

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

CAN ICES-003(B) / NMB-003(B)

欧州諸国のCE適合

CE 本機は EMC 指令 2014/30/EU および低電圧指令 2014/35/EU に準拠します。エコデザイン指令2009/125/EC。

次の情報は、EU加盟国のみに適用されます：

右側のマークは、廃電気電子機器指令2012/19/EU (WEEE) に準拠しています。このマークは、本装置を未分類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収および回収システムを使用する必要があることを示しています。



RoHS2コンプライアンス宣言

本製品は、欧州議会および理事会指令2011/65/EU（電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令（RoHS2指令））に準拠して設計・製造されており、欧州技術適合委員会（TAC）が発行する以下の最大濃度値に適合しているとみなされます：

物質	提案された最大濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
六価クロム (Cr6 ⁺)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (DEHP)	0.1%	< 0.1%
Benzyl butyl phthalate (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記のRoHS2指令の附属書IIIの下で免除されています。免除されているコンポーネントの例を以下に挙げます：

- 鉛を重量4%まで含有する銅合金。
- 高融点温度はんだ中の鉛（すなわち、鉛を重量85%以上含む鉛ベースの合金）。
- コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品（例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中）。
- 定格電圧が125 VACまたは250 VDC以上のコンデンサの誘電体セラミック中の鉛。

インドの有害物質規制

有害物質規制に関する声明(インド)。本製品は、「インドE廃棄ルール2011」に準拠しており、鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭素化ビフェニルまたはポリ臭素化ジフェニルエーテルに対する濃度が0.1重量%、カドミウムに対する濃度が0.01重量%を超えることが禁止されています。ただし、規則の附属書2に定められた免除を除きます。

製品ライフサイクル終了時の製品の廃棄

ViewSonic®は環境を尊重し、環境に配慮した緑化に取り組んでいます。よりスマートな、よりグリーンなコンピューティングに参加していただきありがとうございます。詳細については、ViewSonic®のWebサイトをご覧ください。

米国およびカナダ:

<https://www.viewsonic.com/us/go-green-with-viewsonic>

欧州:

<https://www.viewsonic.com/eu/go-green-with-viewsonic>

台湾:

<https://recycle.moenv.gov.tw/>

著作権情報

Copyright© ViewSonic Corporation, 2024. All rights reserved. 著作権所有。

Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社Apple Inc.の登録商標です。

Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。

ViewSonic 及び 3 羽の鳥のロゴは ViewSonic 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
DPMS、DisplayPort 及び DDC は VESA の商標です。

ENERGY STAR® は米国環境保護庁 (EPA) の登録商標です。

ENERGY STAR® パートナーとして、ViewSonic® Corporationは本製品がエネルギー効率のための ENERGY STAR® ガイドラインに準拠することを決定しています。

免責条項: ViewSonic® Corporationは、本書における技術的または編集上の誤りについてその責を負いません。また、本資料の提供または本製品の動作或いは使用に起因する二次的または間接的損害についてもその責を負いません。

製品の継続的な品質向上のために、ViewSonic® Corporationは製品の仕様を予告なしに変更することができます。本文書の内容は予告なしに変更されることがあります。

本書のいかなる部分も、ViewSonic® Corporationから事前に書面による許可を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複写、複製、転送することを禁じます。

カスタマーサポート

技術サポート、または製品サービスについては下記ウェブサイトをご覧ください。

注意事項：製品のシリアル番号が必要です。

国/地域	ウェブサイト	国/地域	ウェブサイト
アジア太平洋およびアフリカ			
Australia	www.viewsonic.com/au/	Bangladesh	www.viewsonic.com/bd/
中国 (China)	www.viewsonic.com.cn	香港 (繁體中文)	www.viewsonic.com/hk/
Hong Kong (English)	www.viewsonic.com/hk-en/	India	www.viewsonic.com/in/
Indonesia	www.viewsonic.com/id/	Israel	www.viewsonic.com/il/
日本 (Japan)	www.viewsonic.com/jp/	Korea	www.viewsonic.com/kr/
Malaysia	www.viewsonic.com/my/	Middle East	www.viewsonic.com/me/
Myanmar	www.viewsonic.com/mm/	Nepal	www.viewsonic.com/np/
New Zealand	www.viewsonic.com/nz/	Pakistan	www.viewsonic.com/pk/
Philippines	www.viewsonic.com/ph/	Singapore	www.viewsonic.com/sg/
臺灣 (Taiwan)	www.viewsonic.com/tw/	ประเทศไทย	www.viewsonic.com/th/
Việt Nam	www.viewsonic.com/vn/	South Africa & Mauritius	www.viewsonic.com/za/
アメリカ			
United States	www.viewsonic.com/us	Canada	www.viewsonic.com/us
Latin America	www.viewsonic.com/la		
欧州			
Europe	www.viewsonic.com/eu/	France	www.viewsonic.com/fr/
Deutschland	www.viewsonic.com/de/	Қазақстан	www.viewsonic.com/kz/
Россия	www.viewsonic.com/ru/	España	www.viewsonic.com/es/
Türkiye	www.viewsonic.com/tr/	Україна	www.viewsonic.com/ua/
United Kingdom	www.viewsonic.com/uk/		

限定保証

ViewSonic®プロジェクター

保証内容:

ViewSonic®は、保証期間中、通常の使用の下で、製品に材料や製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間中に製品の材料または製造上の欠陥が判明した場合、ViewSonic®は、唯一の救済策として、修理または類似の製品に交換します。交換用の製品または部品には、再生または改装された部品またはコンポーネントが含まれる場合があります。

通常使用の場合の3年間限定保証:

南北アメリカでは、下記の1年間の限定保証が適用されます。ランプを除くすべての部品の保証期間は3年間、工作に対する保証期間は3年間、元のランプの保証期間は1年間です（最初の消費者の購入日を基準とします）。

その他の地域または国：保証情報については、最寄りの販売店または最寄りのViewSonic®オフィスに確認してください。

多用される場合の1年間限定保証:

南北アメリカにおいて、プロジェクターの使用が1日の平均使用時間が14時間を超えるような、過酷な使用環境では、ランプを除くすべての部品の保証期間は1年間、工作に対する保証期間は1年間、元のランプの保証期間は90日間です（最初の消費者の購入日を基準とします）。欧州：ランプを除くすべての部品の保証期間は1年間、工作に対する保証期間は1年間、元のランプの保証期間は90日間です（最初の消費者の購入日を基準とします）。その他の地域または国：保証情報については、最寄りの販売店または最寄りのViewSonic®オフィスに確認してください。ランプの保証は、契約条件、検証および承認に従います。メーカーが設置したランプのみに適用されます。別途購入したアクセサリランプは、すべて90日間保証されます。

保証対象者:

この保証は、最初の消費者購入者にのみ有効です。

保証対象外:

1. シリアル番号が破損、変更、または削除された製品。
2. 以下に起因する損傷、劣化、または誤動作：
 - » 事故、誤用、怠慢、火災、洪水、雷、または自然災害、不正な製品の変更、または製品に付属の説明書の不順守。
 - » 製品仕様外の操作。

- » 通常の使用目的以外での、または通常の下条件下以外での製品の操作。
- » ViewSonic®の認可を受けていない者による修理または修理の試み。
- » 出荷による製品の損傷。
- » 製品の取り外しまたは取り付け。
- » 電力の変動や停電など、製品外部の原因。
- » ViewSonicの仕様を満たしていない消耗品または部品の使用。
- » 通常の損耗。
- » 製品の欠陥に関係しないその他の原因。

3. 取り外し、設置、設定サービス料金。

サービスを受ける方法:

1. 保証サービスを受ける方法については、ViewSonic®カスタマサポートにお問い合わせください(「カスタマーサポート」のページを参照してください)。製品のシリアル番号を提供してください。
2. 保証サービスを受けるために、以下を提供してください: (a) 元の日付付き売上伝票、(b) 名前、(c) 住所、(d) 問題の説明、(e) 製品のシリアル番号。
3. 元のコンテナに保管された製品を認可されたViewSonic®サービスセンターまたはViewSonic®に持ち込むか、料金前払いで出荷してください。
4. 最寄りのViewSonic®サービスセンターの追加情報または名称については、ViewSonic®にお問い合わせください。

黙示の保証の制限:

商品性および特定の目的への適合性を含め、ここに記載されている内容を超える明示または黙示の保証はありません。

損害の除外:

ViewSonicの責任は、製品の修理または交換の費用に限られます。ViewSonic®は、以下の責任を負わないものとします:

1. 不具合に起因する損害、製品の使用の喪失、時間の損失、利益の損失、事業機会の喪失、のれんの喪失、取引関係への干渉、または、その他の商業的損失(たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも)。
2. 偶発的、派生的、またはそれ以外のその他の損害。
3. 他の当事者による顧客に対するクレーム。

州法の効果:

本保証は、お客様に特定の法的権利を付与するものであり、また地方自治体ごとに異なるその他の権利を有する場合があります。一部の地方自治体では、黙示の保証の制限を認めない、または、付随的または間接的な損害の除外を認めないため、上記の制限および除外が適用されない場合があります。

米国およびカナダ外の販売:

米国およびカナダ以外で販売されるViewSonic®製品の保証情報とサービスについては、ViewSonic®またはお近くのViewSonic®販売店にお問い合わせください。

中国本土(香港、マカオ、台湾除く)における本製品の保証期間は、保守保証保証書の条件に従います。

欧州およびロシアのユーザーの場合、提供される保証の詳細は、次のURLを参照してください: <http://www.viewsonic.com/eu/>の「サポート/保証情報」。



ViewSonic®